

# 2019年度 社会福祉法人福浜会事業報告

・ 法人	・・・	P 1
・ はまぼう	・・・	P 3
・ あにまあと	・・・	P14
・ そるとぽっと	・・・	P22
・ 松ぼっくり	・・・	P31
・ 潮の香	・・・	P41
・ 結	・・・	P48
・ 地域療育支援センター事業	・・・	P50
・ 地域生活支援	・・・	P51
・ 汐風	・・・	P53
・ 磐田市障害者相談支援センター及び 磐田市障害者虐待防止センター	・・・	P56

社会福祉法人福浜会

## 2019年度社会福祉法人福浜会事業報告

今年度は、中遠地域自立支援協議会（設置主体：磐田市、袋井市）の組織が大きく変わった。「今解決すべき課題を短期・中長期の視点から明確にするとともに、その課題をどのような施策の下で社会資源の開発等を進めて行くのか」など、広域として取り組む前に、各行政単位で課題を明らかにし施策として進めて行こうということから、磐田支部と袋井支部に分かれて活動を行った。組織編成後の動きは、初年度ということもあって関係者間で情報が十分共有できたとは言えなかったと思われる。

次年度に向けては、これまで行政単位を越えて作り上げてきた事業者間のネットワークを生かし、利用者さんが安心して地域生活を送ることができるよう、共通理解を図り、そのニーズに応える社会資源の開発等進めて行かなければならない。今年度も、ネットワークの中核となる障害者相談支援センターを始めとして、法人職員も協議会の中で課題別検討会の担当として役割を担い、積極的に発信してきた。4市町から利用がある法人施設として、今後も責務を果たしていきたい。

さて、2019年度の法人事業計画に、適切なサービス提供体制の確保と質の向上（医療的ケア児への対応等）」として看護職員の確保をあげたが、法人全体では必要と思われる職員配置ができた。しかし、グループホームの世話人については、世話人の体調や高齢化等の要因から、他事業所職員のバックアップがなければ十分な対応ができない状況が見られた。

「障害者の重度化・高齢化」を踏まえて、重度の障がい者への支援を可能とするグループホームの施策が示されたが、実際は建物を建設することは可能であったとしても、ソフト面である支援者の確保ができなければ事業そのものが継続しない。このような状況は、地域の居宅介護や同行援護等実施事業所に顕著にみられる。職員退職後の人材を補うことができずに事業数が減少している現実がある。また人材不足の問題は、今述べた在宅支援の分野だけでなく、入所施設等も職員募集をしても応募者がいないといった声も聞かれる。一法人だけの課題ではなく地域として取り組むべき時なのではないだろうか。

2019年度の大きな出来事としては、何と言っても12月末からの新型コロナウイルス感染症の発生と拡大であろう。感染経路が明らかではない患者さんの増大とクラスター（集団）感染が見られ、事態が収束に向かう気配がない。法人としては、厚労省から示された事業継続のためのガイドラインに基づき、BCPの道筋を検討し、状況の変化に慌てることなく適切に対応できる準備を進めている。ご家庭の在り様はさまざまである。ご本人やご家族が戸惑うことがないよう、ご家庭には随時情報提供（お知らせ）を心掛け、協力をお願いしてかなければならない。

今年度を振り返り、最後にご家族からの要望があったことをまとめておきたい。それは、当法人でグループホーム等の居住サービスを考えてほしいということ。当法人最初の施設であるはまぼうがスタートして25年。ご家族も高齢になってきており、利用者さんの将来の生活に対する不安が増している。入所施設の利用希望の声も聞かれる。一方、できれば自分の子どもをよく知っている法人で施設を立ち上げ、将来に亘ってみたいという相談もあった。

どのような障がいであっても、学校卒業後に家庭から通所し利用できる施設の運営を行ってきた。そして必要性に応えるように、グループホームも立ち上げてきた。しかし、これから何年後には、さらに利用者さんの環境が大きく変わっていかざるを得ない状況が予想される。ショートステイを含めて、ご本人やご家族が安心して託していけるサービスを探っていく時期に来ていると実感する年でもあった。

## 2019年度理事会

開催日	出席者数/ 理事総数	議 題
6/6	6 / 6 監事 (2 / 2)	1 平成30年度社会福祉法人福浜会事業報告及び会計決算の承認（監査報告）並びに社会福祉充実残額計算結果について 2 磐田市社会福祉法人指導監査の結果報告及び改善措置並びに県実地指導（あにまあと通所支援、そるとぽっと）結果報告について 3 社会福祉法人福浜会経理規程の改定について 4 社会福祉法人福浜会次期役員候補者について 5 社会福祉法人福浜会定時評議員会の開催について 職務執行状況報告
6/24	6 / 6 監事 (2 / 2)	次期理事及び監事選任の報告並びに次期理事長の選出について
9/11	6 / 6 監事 (1 / 2)	1 令和元年度社会福祉法人福浜会本部及び施設等第1次補正予算案について 2 社会福祉法人福浜会給与規程の改定について 報告事項 1 職務執行状況報告 2 消費税増税に伴う対応及び働き方改革に伴う就業規則の見直し等
12/26	6 / 6 監事 (2 / 2)	1 令和元年度社会福祉法人福浜会第2次補正予算案について 報告事項 1 理事長職務執行状況報告
3/12	6 / 6 監事 (2 / 2)	1 令和元年度社会福祉法人福浜会第3次補正予算案について 2 令和2年度法人及び各事業の事業計画について 3 令和2年度法人会計及び施設・事業会計当初予算案について 4 社会福祉法人福浜会各施設運営規程の変更（職員数の見直し）について 理事長職務執行状況報告

## 2019年度評議員会

開催日	出席者数/ 評議員総数	議 題
6/24	5 / 7 監事 (2 / 2)	1 平成30年度社会福祉法人福浜会事業報告及び会計決算の承認（監査報告）並びに社会福祉充実残額計算結果について 2 磐田市社会福祉法人指導監査の結果報告及び改善措置並びに県実地指導（あにまあと通所支援、そるとぽっと）結果報告について 3 新理事及び新監事の選任について 4 社会福祉法人福浜会経理規程の改定について
9/26	7 / 7 監事 (1 / 2)	1 令和元年度社会福祉法人福浜会本部及び施設等第1次補正予算案について 2 社会福祉法人福浜会給与規程の改定について 報告事項 1 職務執行状況報告 2 消費税増税に伴う対応及び働き方改革に伴う就業規則の見直し等
1/10	7 / 7 監事 (2 / 2)	1 令和元年度社会福祉法人福浜会第2次補正予算案について 報告事項 1 理事長職務執行状況報告
未定		第5回理事会の議案に基づき、評議員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、年度内開催ができなかった。

## 2019年度 はまぼう 活動報告

### 1. 在籍者の状況

はまぼう 2019年度の定員30名及び定員緩和措置を含めた月別の在籍状況

区分	月	'19年										'20年			合 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入 所		2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	
退 所		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	
月末 在籍	男	25	25	25	25	24	24	24	25	25	25	24	25		
	女	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10		
	計	36	36	36	36	34	34	34	35	35	35	34	35		

### 日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	'19年										'20年			合 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入 所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退 所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

### 2. その他の利用状況

区分	月	'19年										'20年			合 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
特実 支習 等生	人 員	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	5	
	延日数	0	0	5	0	0	0	8	0	0	8	0	0	21	
実研 習修 ・生	人 員	0	0	2	0	2	0	4	4	0	0	0	0	12	
	延日数	0	0	22	0	20	0	4	4	0	0	0	0	50	
見 学 者	件 数	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	1	0	6	
	人 員	0	0	0	0	3	0	0	5	2	1	1	0	12	
ポテ ライ ンア	延人数	10	12	9	12	8	7	20	10	11	8	10	10	208	
	特 記				地域交流会 81										

### 3. 活動の状況

利用者さんについて

心身両面で、年齢とともに変化が見えてきていると思われる方がいる。心臓疾患のある方、小頭症による手術の影響と思われる体調不良、20歳を過ぎてから大きなたんかん発作の発生とその後の日常生活への影響、ストマ装着となった方、精神的な不安定が度々みられる方など、心身両面でのケア内容の変化に、細かい配慮が必要になってきている。ケアの変更や家庭生活等の情報がスムーズに届き、安心して活動に参加できるように、常に家庭との連絡を怠らないようにしていく重要性を感じた1年であった。

また、今年度も特別支援学校卒業生2名が通所された。学校時代と異なる環境となるため、利用が経過するに従いさまざまな変化が現れ、支援の難しさも感じている。本人の思いがどこにあるのか、なぜそのような言動があるのか、寄り添いつつ戸惑い、また戸惑いつつ寄り添うを繰り返す中から、本人らしい過ごし方を模索している。

活動について

今年度も、いろいろなことを自分で決められるようにと、朝のミーティングでその日の活動を自分で選ぶ仕組みとなっている。活動内容は、基本的に利用者さんと相談し、得意とするものや興味のあるものから探っていくようにしている。作業活動の作業種の選択や施設全体の活動の検討も、利用者さんに聞きながら楽しく参加できることを第一に決めている。施設外での外部作業として一般企業や介護保険施設に出掛けている。介護保険施設でのベッドメイキングは継続しているが、一般企業での仕事は、本人からの申し出により今年度途中でやめることとなった。

施設全体で実施したバーベキュー会、通常のグループメンバーとは異なる複数のグループによる土曜レクリエーションやサークル活動も引き続き実施した。

施設でのグループ活動や個別活動(プール・料理作り等)、個別体験(映画・行楽地などへの外出)等も、報告のとおり実施。基本は、利用者さんやご家族の意見や希望を聞き、その希望に沿った内容を個別支援計画に記載し、実施するようにした。また本人会である「はまちゃん会」も、クリスマス会や球技大会などを主体的に企画立案することができました。

その他、複数の市会福祉協議会から依頼を受けて、利用者さん自らが小学校等で福祉教育の講和を行っている。本人のやりがいや自身の役目として意識されている。

### 4. グループ活動報告

主な作業活動は、受注作業・縫製等の自主製品・アルミ缶リサイクル・園芸・外部作業を中心にぽぷりん工房・オズグループと2つのグループに分かれて行った。外部作業以外は所属グループにとらわれることなく、利用者さんがやってみたい作業を選び行った。

#### (1)ぽぷりん工房

##### ①受注作業

###### 〈ブリヂストン(株)〉

「LD下パック清掃作業」は、工程を2～3段階に分け、個々の利用者さんに合った工程で進めていった。「LD塗装下キャップ清掃作業」は、部品が小さく細かい作業であるが、個々の利用者さんに合わせて補助具を使用したり、工程を分けるなどして、少しずつ無理のない範囲で行ってきた。

###### 〈大洋工業(株)〉

シートカバー袋詰め等の請負作業を行う。工程ごとに分かりやすいように工夫をし、担当する利用者さんそれぞれが意欲的に取り組む様子がみられた。

## ②さをり織り

さをり織りは個性を大切にしている為、利用者さんが縦糸・横糸の選択、織り方まで本人に任せることでオリジナルの布を織ることが出来た。織りあがった布は縫製作業によって製品化し、同じものがひとつと無いオリジナルのさをり織りは好評を得ている。

## ③縫製

さをり織りで織りあがった布の個性を生かせる製品を考え、携帯入れや巾着・ペットボトルケースなどの製品に仕上げた。アクリルタワシなどの製品については、ボランティアさんの協力も頂いた。

また、作る物や生地を利用者さん自身に選んでもらうことで、自分で仕上げた達成感を味わい、製作意欲の向上にもつながった。

## ④クリスマスツリー

松ぼっくりや土台の色塗りをする担当・飾り付けの担当と利用者さんが別れ、それぞれ個性のあるツリーを楽しみながら仕上げることができた。

## ⑤印刷

パソコンが得意な利用者さんが年賀状作りを行った。数年間継続してやっていることで、短期間で仕上げる事が出来ている。利用者さん自身が考えながら自信をもって実施することが出来た。

## (2)オズグループ

### ①アルミ缶リサイクル

毎週月曜日に、福田地区を中心にご協力くださる店舗や家庭を定期的に缶回収に廻り、収集したアルミ缶の缶つぶしを行った。毎週金曜日や缶が溜まった時に、業者へ缶運搬を実施。納品の際には、作業収入増につながるため、より買い取り金額の高い業者へ缶の運搬を行った。活動は、プルタブ取りと足踏み式及び卓上式缶つぶし機を使う二種類の作業工程に分けた。缶つぶしは、段階的に工程を分け、利用者さん一人一人に合った工程を担当し、多くの利用者さん同士で協力し合いながら、缶つぶしを行うことが出来た。

### ②リサイクル活動

月に一回、施設に溜まったダンボールやペットボトル、雑誌等をクリーンセンターに運び、リサイクル活動を行った。準備段階から利用者さんと一緒に行い、一体となって活動を行うことが出来た。

毎月申請に行き、市からの助成金(古紙等資源集団回収事業奨励金)を受けた。

### ③園芸・畑

1月～3月の間、県庁玄関等に飾る30鉢のプランター作りをメインとして実施。今年度は、苗を購入して花が咲いている状態で納品できるように育てた。県庁への納品・回収は、今年度も利用者さんとお掛け、通常とは違う活動で楽しみながらの納品であった。

野菜作りは、玉葱を作り、収穫は利用者さんが中心となって行うようにした。採れた野菜等は、バザー等で販売を行った。

## (4)外部作業

### ①コーケン工業

磐田市竜洋にある工場に通い、部品の組み立て作業(部品にゴムリング・銅リングをはめる作業)を行っている。新しい部品も増え、難しい工程もあるが、一人一人が責任を持ちながら作業に取り組むことができています。

来年度からは、工場に通う対象者がいない為、休止となる。

## ②於保老健施設・さくらの苑

### 〈於保老健施設〉

毎週火曜日にベットメイキングを行った。それぞれが協力し合いながら、仕事に取り組んでおり、スムーズにシーツ交換が出来た。

### 〈さくらの苑〉

毎週水曜日にベットメイキングを行った。作業にも慣れ、スムーズにシーツ交換できるようになった。困る事や分からないことには、しっかりと聞きに行くことが出来ていた。

コロナウィルスの関係で面会禁止の為、3月からベッドメイキング中止となった。

## (5)販売

出来上がった製品・野菜等は、地域のバザー、アプレゲール、お茶の山大園で販売した。地域との関わりを深めるためにも作品展覧会などに積極的に出展することで、意欲的に製品作りができた。地域のバザーでは、さをり織りの巾着・ペットボトルケースは好評だった。

## その他の活動について

### (1)グループ活動

#### 〈朝・帰りのミーティング〉

- ・ 朝のミーティングの進行は曜日ごとに当番を決め、利用者さんが主体となり、やる気をもって行えた。帰りのミーティングは金曜日のみ実施し、今週の感想や来週の予定の確認をした。
- ・ 朝のミーティング後にラジオ体操を実施し、体を軽く動かすことで作業活動にスムーズに移ることが出来た。

#### 〈グループ活動〉

9月にぽぷりん工房は堀出前公園とウォット（浜松市）へ、オズグループはたこまん工場見学と菊川運動公園へ行く、どちらもお弁当を食べながらのんびりと過ごし、水族館や工場を見学して楽しむことが出来た。2月・3月には、オズグループは浜名湖ガーデンパーク（浜松市）へ、ぽぷりん工房は2グループに分かれて22世紀の丘公園と万葉の森に行った。新型コロナウイルスの流行があり、企画していた工場見学や公共施設の利用が出来なかったが、お弁当を購入したり外食をしたりと、それぞれのグループでいつもと違う活動に満足できた様子だった。

宿泊体験は4グループに分かれ、それぞれの希望にあわせ、活動することが出来た。

### (2)個別活動

スポーツ体験や料理作りなどの生活体験を含めた活動を少人数で個々の希望に合わせて、相談しながら実施した。それぞれの利用者さんが体を動かしたり、日頃出来ない生活体験をする事が出来た。（希望者のみ実施 実施状況 表1）

### (3)個別体験

事前にアンケートをとり、個別面談時にご本人やご家族の希望を聞きながら、体験したいことや外出先を決めて実施した。それぞれに楽しめた内容となった。（希望者のみ実施・実費徴収実施状況 表2）

表1. 個別活動

実施日	内 容 (行き先・メニュー等)	参加人数
8月27日(火)	プール (竜洋B&G)	利 4名 職 3名 美 1名
8月29日(木)	プール (竜洋B&G)	利 3名 職 2名
10月 3日(木)	ボウリング (袋井グランドボウル)	利 3名 職 2名
10月 8日(火)	ミニピクニック (袋井市・夢の丘公園)	利 2名 職 2名
10月29日(火)	料理作り (うどん・フルーチェ)	利 3名 職 2名
11月 1日(金)	料理作り (炒飯・餃子・スープ・サラダ・デザート)	利 2名 職 1名
11月28日(木)	料理作り (焼きそば・サラダ・スープ・プリン)	利 2名 職 1名
1月31日(金)	ウォーキング (遠州灘海浜公園)	利 1名 職 2名
2月 6日(木)	スイーツ作り (プリン・フルーチェ)	利 2名 職 1名
2月19日(水)	カラオケ (市内・まねきねこ)	利 2名 職 2名
2月25日(火)	ウォーキング (うさぎ山公園)	利 2名 職 2名
3月 4日(水)	ボウリング (袋井グランドボウル)	利 2名 職 1名
3月11日(水)	料理作り (ハンバーグ・サラダ・プリン)	利 3名 職 2名

表2. 個別体験

実施日	内 容 (行き先)	参加人数
4月17日(水)	映画・食事 (ららぽーと磐田)	利 1名 職 1名
5月17日(金)	のんほいパーク (豊橋市)	利 3名 職 2名
8月 9日(金)	映画・食事 (ららぽーと磐田)	利 2名 職 1名
11月 1日(金)	電車とバスに乗って買い物 (イオンモール市野)	利 2名 職 2名
11月14日(木)	蔵王山展望台	利 1名 職 2名
11月15日(木)	浜名湖パルパル	利 3名 職 2名
12月10日(火)	ランチ&買い物 (浜松アクトシティ:フィガロ)	利 3名 職 2名
1月29日(水)	県営吉田公園	利 1名 職 1名
2月18日(火)	電車に乗ってランチ&買い物 (浜松遠鉄百貨店)	利 1名 職 1名
2月19日(水)	のんほいパーク (豊橋市)	利 3名 職 2名
2月21日(金)	浜名湖パルパル	利 4名 職 2名
3月 3日(火)	ランチ [さわやか] & 22世紀の丘公園 (掛川市)	利 4名 職 3名
3月 9日(月)	ランチ [やよい軒] & カラオケ (JOYJOY・市内)	利 4名 職 2名



## 5. 土曜日レクリエーション

土曜日の通所日を利用して、レクリエーション的活動を、年間13回行った。

身体を動かしたり、文化的な活動など、参加者全員で一緒に楽しめる企画が多く、利用者さんの笑顔や笑い声が印象的であった。

日付	内容
4/27	ミニウォーキング
6/22	フラワーアレンジメント
7/20	映画鑑賞
8/3	水遊び
8/10	流しそうめん
8/17	地域交流会の楽器作り
8/24	地域交流会の飾り作り
9/22	ハロウィン飾り作り
11/9	ミニミニ運動会
1/11	おしるこ作り
2/8	ホットケーキ作り
2/22	クランチチョコレート作り
3/14	工作

## 6. サークル活動

第3木曜日の午後の活動時間を利用してサークル活動を行った。野外活動を中心とした「あおぞらサークル」、室内遊びを中心とした「あそびサークル」、文化的・芸術的な活動に触れ合う「ピカソサークル」の3サークルから希望をとり、1年間それぞれのサークルで企画・実施した。楽しんで参加している様子が伺えた。

実施内容

	あおぞらサークル	あそびサークルA	ピカソサークル
5/16	計画（竜洋海洋公園）	計画	計画
6/20	ゆめりあ	ペットボトルボーリング	絵
7/18	エコパ	水遊び	紙ねんど
9/19	竜洋海洋公園	スライムづくり	作品展の作品作り①
10/17	エコパ	シャボン玉	作品展の作品作り②
11/21	兎山公園	公園で遊ぼう	作品展の作品作り③

12 / 19	エコパ	凧作り	クリスマスカード作り
1 / 23	はまぼう公園	福笑い	今日だけモーツァルト サークル ♪ ♪ ♪
2 / 20	御厨駅	凧揚げ	おひな様作り
3 / 12	兎山公園	パンケーキ作り &反省会	プリンアラモード作り &反省会

## 7. 行事・バザー報告

### はまぼう 2019年度年間行事・バザー表

月	行事等	担当	参加者		バザー等	担当	参加者	
			はまべ会	ボラ			利用者	はまべ会
4	年度始めの会(1)							
5	大掃除(18)	環境美化委員会	○		ヤマハジャンボリー(26)	【は・そ・松・潮】	○	○
6					磐田北高校文化祭(8)	【は】	○	呼びかけ
7	開所記念日(1)							
8	地域交流会バザー値付け(30)	実行委員会	○					
9	地域交流会前日準備(6)		○					
	地域交流会(7)		○					
10	地域清掃 バーベキュー会(19)	環境美化委員会	○	○				
11	大掃除(2) ヤマハ労連観劇(29)	環境美化委員会	○		光る子まつり(16) ふくでふれあいまつり(17) 浅羽夢広場( )	【は・そ・松】 【は・松】	○ ○	○ ○
12	ふれあい作品展(4~12)		○		ぬくまるマーケット(8)	【は・そ・松・潮】		呼びかけ
	クリスマス会(19)							
1	新年会(6) 個別面談	各G						
2	個別面談	各G						
3	ボランティア感謝の集い ・年度納めの会(24) 個別面談	ボランティア係 各G						
《備考》					《毎日販売》			
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動…外出・外食・料理作り・スポーツ等実施。</li> <li>個別体験…個人の希望に沿って時期・場所等を設定。</li> <li>土曜レク(開所日に実施)。</li> <li>サークル活動 毎月第3木曜日</li> <li>個別面談は…1~3月に実施。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アプレ・ゲール</li> <li>・ お茶の山大園</li> </ul>			
					《その他販売》			
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はまぼう販売</li> </ul>			
★ 地域交流会実行委員					曾我拓、鶴飼			

## 8. ともしびコンサート

音楽活動をしているNPO法人に依頼し、月1回、季節感のある音楽（歌）や楽器に親しむ機会を設け、室内コンサートをはまぼうで開催していただいた。童謡からクラシックまで幅広い音楽に触れられる機会が、参加者は演奏を聴いたり皆で歌ったり、楽しく過ごすことができた。

## 9. 環境美化委員会

(1) 大掃除前後等、必要に応じて委員会を開き、情報の共有を図ることが出来た。日頃の環境美化については、職員一人一人が意識して取り組めるよう、委員を中心に呼びかけを行った。

毎日の清掃については、職員一人一人が美化につとめ、協力しながら行う事が出来ていた。

(2) 大掃除については、年度始めにアンケートをとり、希望日に合わせ参加の呼びかけをした。家庭へのお知らせや準備、事前に担当場所等を知らせたことで、戸惑う事なく進めて行くことができた。

今年度は、夏季・冬季大掃除を土曜日にする事で、多くの保護者さんに協力をしてもらい、実施することが出来た。

(3) ゴミの分別については、適宜注意喚起することで意識して行うことができた。

以前まで、クリーンボックスを借用していたが費用削減の為、クリーンセンターへ定期的に行き、段ボールや古紙等の運搬を行い、処理を行った。

## 10. 安全委員会

(1)利用者の方の安全確保

- ・ 委員会内での話し合い、事故防止・再発防止策検証チェックを行い、事故防止に努めるよう情報収集、安全管理体制の見直しを行った。
- ・ 「事故報告書」「ヒヤリハット報告書」の集計・活用。

(2)防災

- ・ 避難訓練を毎月1回、避難訓練計画に合わせて実施。
- ・ 法人全体で防災内部研修の実施や緊急時安否確認名簿作成・配布を行った。
- ・ H23年度より、各施設・事業所の防火管理者による防災担当者会議を開催し、大規模災害時の対応等について協議を継続している。

(3)施設設備（環境）の保全管理

- ・ 設備自主検査を9月、3月に実施。  
不具合箇所 … 詳細については、建物・設備等点検結果表ファイル参照。

(4)安全運転管理

- ・ 春、秋の安全運転管理協会の街頭指導に参加。

(5)緊急事態への対応

- ・ 緊急事態（車両等の事故）に対しては、各職員がマニュアルに従い、速やかに対応出来ていた。
- ・ 今後も、マニュアルの検討を重ね、分かり易く対応しやすいものにしていく。

## 11. 生活・保健衛生委員会

(1)健康診断及び記録について

健康診断は春と秋に、レントゲン撮影は4月に実施した。検尿は随時はまぼうで行い、保菌検査は職員が毎月、利用者さんは半年に1回実施した。

血圧については、健診当日は慌しさの影響を受け正しい数値が測定できない場合もあるため日を改め測定した。

健康診断の結果については、嘱託医に確認して頂き各家庭への報告をした。必要に応じて家庭への電話連絡も行った。（通院については家庭にお任せした。）

記録については、個人表、一覧表、嘱託医訪問記録、検査結果等、随時記入するようにした。

服薬はグループ単位で把握し、服薬ミスが無いように管理した。処方箋は昼食以外の物も提出して頂き、万が一の時に把握できるようにした。

#### (2)体重測定について

毎月月初めに実施した。結果は、体重表（カード）に記入し、家庭に確認して頂いた。測定の結果を健康チェックの目安とし、食事量を加減したり通院時に持参する家庭もあった。

#### (3)機関誌について

年に4回法人全体で保健だよりを作成・発行し、それぞれの季節に必要なこと呼びかけた。

#### (4)衛生面について

身だしなみについては、連絡帳等で家庭と連絡をとり対応している。徹底されつつあるが、改善の必要な人がいるので、引き続き本人や家庭に働きかけをしていく。

ハンカチ所持を呼びかけていることで個人での所持率は高まっているが、今後も声掛けが必要だった。トイレでのスリッパへの履き替えが定着していない人もいるので、今後も対策が必要だった。

寝具については布団、毛布の天日干しを隔月で実施した。

#### (5)病気予防について

食中毒や風邪・インフルエンザの予防のため外から帰った時や、食事の前にうがい・手洗いの声掛け・マスク着用を促した。そのため職員が率先して行なう姿勢が多くみられた。

感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス）予防の為、12月～3月には日に数回次亜塩素酸ナトリウム製剤を空中散布し、施設内4ヶ所にジェルタイプの手指消毒剤を設置した。また、ノロウイルスに関して汚物処理のための消毒薬（次亜塩素酸泡タイプ）の留置、週一回施設内の消毒薬での拭き掃除を徹底した。

部屋の換気や加湿器の使用を心がけ衛生面に注意した。

感染症についての職員会議にて伝え、施設内での感染予防を促した。

#### (6)防虫防鼠について

環境美化委員会にて大掃除やバルサン実施。

#### (7)日用品・医薬品について

トイレットペーパーやボックスティッシュ・使い捨てマスク・使い捨て手袋等、在庫確認の上、随時発注するようにした。医薬品については、使用期限の確認と在庫チェックの上、必要に応じて発注・補充した。

個人で昼に服薬がある利用者さんについては、服用の確認と声掛けを行った。

#### (8)着替えについて

利用者さん一人ひとりが自分の着替えを持ってきていることが多く、貸し出すことは少なかったが、下着を購入するなどして万が一の時に備えた。

#### (9)歯磨き・うがいについて

各自で食後の歯磨きやうがいを行っていたが、必要な利用者さんに対しては全面介助や仕上げ磨きを行った。うがいも上手に出来るように促したが、うがいが難しい利用者さんに対しては、お茶や水を飲むことで口腔内の清潔に努めた。

#### (10)歯科検診について

訪問歯科による歯科検診を全利用者さん対象に実施した。

## 12. 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、虐待を未然に防止するために、管理者を責任者とし、人権擁護・虐待防止委員会を設置。虐待防止チェックリストを10月と3月（半期に一度）に実施し、合同研修や回覧により、職員への周知を図った。

利用者さんの安心、安全と人権擁護の観点から、適正な支援が提供され、利用者さんの自己実現と社会参加のための支援を妨げることはないよう、適宜、委員会を開催し、虐待の防止に努めていくことを確認した。

## 13. はまちゃん会（利用者本人会の代表者会）

土曜日の通所日を利用して10回と平日に1回開催し、意見交換会など利用者さん主体で意見や要望を出し合った。恒例となったはまちゃん会主催のクリスマス会スムーズも企画・実施する事ができ、利用者さんの自信や楽しみにつながった。また、今年度は球技大会の内容をアンケートをもとに考え、内容を工夫したボウリング大会を企画・実施した。

第1回 4/20(土)	年間計画	第7回 12/19(土)	クリスマス会
第2回 5/11(土)	球技大会計画①	第8回 12/28(土)	クリスマス会の反省
第3回 5/18(土)	意見交換会	第9回 1/18(土)	球技大会計画②
第4回 9/14(土)	クリスマス会計画①	第10回 2/29(土)	ボウリング大会（球技大会）
第5回 9/28(土)	クリスマス会計画②	第11回 3/28(土)	ボウリング大会の反省 今年度の反省
第6回 11/ 2(土)	クリスマス会・ ハンドベル等練習		

## 14. 内部研修

水曜日午後の時間を利用し、年間計画に従い研修担当者で起案を立て研修会を実施した。

令和元年度は、法人全体研修を4回実施した。地域生活支援との兼ね合いもあり、職員全員参加は難しかったが、グループワーク等、積極的に意見交換することができた。第5回合同研修会については、新型コロナウイルス感染予防のため、中止した。（内容については下記参照。）今後も日程、内容等の工夫をし、定期的な開催を通して職員の意欲向上に努めていきたい。

日付	内容	担当者
6/26	安否確認「マチコミ」について 理事長の話 (合同研修会)	研修担当
10/30	グループワーク“その人らしさをみつめて” 理事長の話 (合同研修会)	研修担当
12/4	ICF（国際機能分類）について 理事長の話 (合同研修会)	研修担当
2/12	「制度の概要と利用者支援の基本」 理事長の話 (合同研修会)	研修担当

## 15. 相談・福田チーム検討会・地域包括ケア会議

施設等での外来相談については、結の相談支援専門員・サービス管理責任者、リーダー・地域生活支援担当者を中心に、磐田市、袋井市等の委託相談事業所などの関係機関と連携をとりながら実施している。内容は、通所に関する相談、学齢児の長期休暇時や放課後支援の相談、進路相談、在宅児（者）への支援等。訪問等による療育の必要性のあるケースは、地域療育支援センタ

一事業につなげている。特に、就学前の重症心身障害児への支援は、家族支援も兼ねて家庭訪問をするなどの対応をしている。また、在宅の3障害を対象とした相談については、指定特定相談(計画相談)結が対応している。

地域連携として、障害者相談支援センター主催の磐田市相談連絡会、福田地区在宅者を対象としたケース検討会(福田チーム検討会)や地域包括支援センターが実施するケア会議に参加。地域の各機関が一致した認識の下、協力して生活支援を行っていく土台作りの場となっている。

## 16. 中遠地域自立支援協議会

今年度は、各行政区域における課題を明らかにすることを目的として、これまで2市で一緒にやってきた課題検討等を磐田支部と袋井支部に分かれて実施した。課題(短期・中長期)の明確化、ニーズと現状の社会資源の状況把握等を進め、それぞれ支部ごとに市への政策提言につなげていくというものである。初年度ということで、十分とはいえないが、それぞれの地域にあった組織作りから始まりつつ。

当法人が受託している障害者相談支援センターを始めとして、法人職員も協議会の中で課題別に検討会に参加し、積極的に発信するなどその責務を果たした。

## 17. 重症心身障害児(者)の在宅支援に関する会議

今年度も、重症心身障害児(者)の在宅支援に関して、中東遠圏域自立支援協議会重心部会として活動を実施。中遠地域自立支援協議会重心部会としての活動は今年も開催がなかった。はまぼう・あにまあと事務局として参加。今年度は、「わくわく」(ボッチャ大会・食事会)と「検討会(研修)」(防災)を行い、準備委員会及びコア会議にも事務局として参加し、当日も関係職員が出席した。2月には、静岡県が主催する医療を中心とした多職種連携研修でも役割を担い、協力・参加した。

その他関係機関との連携や県主催の会議、研修については下記のとおり実施、参加した。

- ① 中遠地域自立支援協議会による特別支援学校等の教育現場の見学、手をつなぐ育成会や肢体不自由児者父母の会等の家族や本人が参加する団体の総会及び活動への参加。
- ② ゆうあいのさと「県西部子どもの在宅支援ネットワーク協議会への参加。

## 2019年度 あにまあと活動報告

### 1. 在籍者の状況

#### あにまあと 契約者数

月 区分	31年 4	元年 5	6	7	8	9	10	11	12	2年 1	2	3	
生活介護	14	14	15	15	15	15	16	16	16	16	19	19	
児童発達	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
放デイ	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	

### 2. その他の利用状況

月 区分	31年 4	元年 5	6	7	8	9	10	11	12	2年 1	2	3	合 計
特実 支習 等生	人 員	0	0	3	0	0	0	4	0	2	0	0	9
	延日数	0	0	9	0	0	0	8	0	6	0	0	23
実研 習修 ・生	人 員	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
	延日数	0	0	0	28	14	0	0	0	0	0	0	42
見 学 者	件 数	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	人 員	0	3	1	0	25	0	0	0	0	0	1	30
ボテ ライ ンア	延人数	0	1	6	16	13	5	12	13	16	11	12	117
	特 記												

### 3. 活動の状況

#### 施設全体について

5月で2年目を迎え、新たに利用につながったケースもみられるようになってきた。R2年3月末現在で、生活介護19名・放課後等デイサービス19名・児童発達支援1名となっている。

利用率についても、生活介護の利用は1日8人程度、放課後等デイサービスについては1日4名程度の利用率になっている。

日中活動としては、『入浴』『クッキー作り』『紙工芸』『ふれあい体操』『リフレクソロジー』を中心に活動プログラムを提供し、『オルゴールセラピー』も不定期で2回ほど実施した。

行事としては、『納涼会』『全体外出』『個別外出』『クリスマス会』『新年会』など季節の行事も企画し、利用者の皆さんが楽しめる活動の提供を行いました。

昨年度実施がなかった『宿泊体験』も実施することができ、利用者さんの楽しみを増やすことができた。

児童の支援についても、創作活動を中心に、トランポリンや音楽遊びなどを行い、余暇の充実を図ることができた。初めての取組みとして、『遠足』も行う事ができて、図書館への1日外出をして、普段とは違った活動を提供することができた。

施設全体として、3月以降は新型コロナウイルスの影響で学校が休校となるなど、利用者の皆様には大変なご負担をかけてしまいました。また安全を守るために普段以上に感染症対策を実施し、3密を極力避ける生活を送ることとなってしまいました。早期の終息を祈りながら、利用者とともに感染をしない取り組みを続けている状況となっている。

## 4. 生活介護活動報告

### ①クッキー作り

利用者さんを中心にそれぞれ自分の出来る工程を担当し、バザー等での販売を中心に行った。利用者さんの活動ペースに合わせる事が難しく忙しい時期もあったが、利用者さんにとっては無理なく活動することができた。

#### a. 生地作り工程

バター・砂糖の攪拌、鶏卵の攪拌、生地を練る作業を行う。バター・砂糖の攪拌と生地を練る作業は、材料をビニール袋に入れることで、その感触を楽しみながら作業することが出来た。

#### b. 型抜き・成型・焼く工程

成型は生地をラップに包みテーブルの上や手のひらで平らにするが、程よい厚みで出来るようになった。型抜きを自分の仕事として前向きに取り組む利用者さんの姿もみられたが、厚みにばらつきもあり注意を促しながら進めた。

#### c. 袋準備・袋詰め工程

シール貼り、クッキー・乾燥剤の袋詰め、袋綴じを流れ作業で行った。袋詰めは補助具を、袋綴じはシーラーを使用して、職員と一緒にいった。袋綴じは職員の声掛けで確実に行うことが出来た。

透明な袋に飾りリボンは見た目にも良く好評であった。飾りリボンを作る作業ができる利用者さんがいて、仕事の幅が広がり喜びとなった様である。

### ②紙工芸

色彩を感じる事の出来る作業を行うために折り染めを取り入れ、それをノート・鉛筆の製品にし、紙すきで作った葉とセットで販売。その他、利用者さんの連絡帳・B5版ノートやメモ帳を販売した。

折り染めは個々の自由な感性で染めるため個性的な製品が出来上がった。ノート・鉛筆の糊付け作業は、利用者さんが一人で行うのは難しく、大半の人が介助や確認を必要としていた。

紙工芸製品はバザー等で幅広い年齢層の方に購入してもらった事が出来た。

### ③ふれあい体操

毎週月・木曜日、スポーツプログラマーによる柔軟体操やマッサージ・触感覚運動・関節運動を行い、心身の緊張をほぐしリラクゼーションを促した。月1回(第3月曜日)理学療法士の方にも参加していただき、利用者さん個々の障がい程度に合わせた体操の仕方や注意点等を職員は教えてもらい対応した。

### ④リフレクソロジー

毎週木曜日、1回に3人(一人約30分)リフレクソロジストによる足裏マッサージ(施術前には足浴を実施して足を温めておく)を受け、リラックスした時間を過ごす事ができた。足裏刺激が良い効果となっている。

### ⑤入浴支援

特殊浴槽にて1日3~4人の入浴を実施した。生活介護に通っている利用者さんのご希望を伺い、週2回程度入浴ができるように行っています。いろいろな香りの入浴剤なども使い、心地良い時間を過ごしていただくとともに、入浴時に全身の健康観察も行っています。



## 5. その他の活動

### ①朝・帰りのミーティング

毎日、利用者さんが交代で司会をして進行。出欠席の確認やその日の活動内容の確認をし、その日の反省・感想等を話してもらった。一日の活動を自分の意思で選択できる利用者さんが増えた。

### ②散歩・外気浴

出来るだけ外の空気に触れられるよう、体調に注意しながらはまぼう周辺の散歩・玄関前での外気浴を行った。散歩は全員が一緒に出掛けることは難しく、短時間の交代でおこなった。また長い時間外気にあたりと疲れてしまう利用者さんも居たため、散歩を短い距離で済ませ室内で待っている事もあった。又、歩ける利用者さんが車椅子を押すなど、他グループの利用者さんとの関わりもあり仲間意識の向上が見られた。

### ③足浴

冬季は車椅子利用者さんを中心に、足浴（場合によっては手浴）を多目に行い、体を温めると共に全身の緊張を和らげる様にした。他グループからの希望者もあり、リラックスした時間を過ごすことが出来た。

### ④レクリエーション

利用者さんから自分のやりたいものを聞き、職員が出した複数の選択肢の中から利用者さんが選んで行った。普段体を動かす機会が少ない人たちが多いため、ペットボトルボウリングやトランプ・すごろくゲームなど室内でも楽しめることを行った。音声を楽しむCD紙芝居も内容を毎回利用者さんに選んでもらい、リラックスした時間を過ごしながらか楽しむことが出来た。

### ⑤外出・納涼会・宿泊体験

納涼会ではご家族にも参加していただき、模擬店を行いお祭りの雰囲気を楽しんでいただいた。その後希望者は、施設にて宿泊を実施した。

実施日	内容（行き先）	参加利用者	職員
6月 7日（金）	にこっと	11名	12名
8月10日（金）	納涼会	14名	11名
8月 9日～10日	宿泊体験	4名	5名
8月23日～24日		4名	5名
9月21日（土）	児童遠足（にこっと）	6名	6名
9月28日（土）		3名	3名

### ⑥個別外出

実施日	内容（行き先）	参加利用者	職員・ボラ
7月17日（月）	浜名湖オルゴールミュージアム	利 1名	職 2名
9月 4日（水）	美容室（磐田市）	利 1名	職 1名
10月 2日（水）	遊覧船・華咲の湯	利 2名	職 2名
10月 8日（火）	ラグーナ蒲郡	利 2名	職 2名
10月16日（水）	エスパルスドリームプラザ	利 2名	職 2名
10月23日（水）	しまむら（磐田市）	利 1名	職 2名
10月31日（木）	浜名湖オルゴールミュージアム	利 1名	職 2名
11月 6日（水）	アピタ磐田店	利 1名	職 1名

## ⑦施設内行事

日付	内容
5月7日(火)	開所記念の会
9月11日(水)	入園式(児童発達支援)
11月29日(金)	ヤマハ労連チャリティーコンサート
12月19日(木)	クリスマス会
1月7日(火)	新年会
5/30 1/15 計2回	オルゴールセラピー
3月5日(木)	年度末お楽しみ会

## 6. 土曜日レクリエーション(のんびりし隊)

土曜日の通所日を利用して、レクリエーション的活動を行った。

身体を動かしたり、創作的な活動など、参加者全員で一緒に楽しめる企画が多く、利用者さんの笑顔や笑い声が印象的であった。

日付	内容	日付	内容
4/20	今後の計画	10/19	反省と次月の予定決め
4/27	散歩	11/2	大掃除
5/11	ゼリー作り	11/9	昼食作り
5/18	DVD鑑賞	12/28	スライドショー
6/22	シアターショー(DVD鑑賞)	1/11	凧あげ・ハンドマッサージ
7/20	反省と次月の予定決め	1/18	反省と次月の予定決め
8/3	水遊び	2/8	凧あげ
8/17	カードゲーム	2/22	袋特市見学
8/24	反省と次月の予定決め	2/29	映画鑑賞
9/14	地域交流会の反省とおやつ	3/14	昼食作り・デザート作り
9/21	外出(渚の交流館)	3/28	ティータイム・表彰式
9/28	図書館へ外出		

## 7. 障害児通所支援活動報告

### (1)コミュニケーション支援

#### ①音楽遊び

こども達が好む音楽(アニメソング、童謡等)を中心に、音楽鑑賞を行った。リズムに合わせて、手拍子をしたり、身体を揺らしたりする姿が見られた。今後は、興味の幅をひろげられるように、様々な音楽を取り入れていく。

#### ②感覚遊び

積み木や形合わせの玩具を使い、微細運動を行った。継続して行うことで、バランス・形をスムーズに認識できるようになってきた。

バランスボールを使つての、身体全体を動かす遊びを行った。不安定な体勢になることに慣れず、苦手なこどももいた。興味の示し具合を見ながら、今後も誘い掛けを継続していく。

### ③読本

色彩豊かな本、ストーリーの分かり易い本を中心に、読み聞かせを行った。

外出が可能な時には、市立図書館に出掛けて、普段なかなか読むことのできない本に触れる機会を設けることができた。

## (2) 社会化

### ①統合保育

友達と同じ時間を過ごすことで、自分の気持ち（嬉しいこと、嫌なことなど）を言葉だけではなく、仕草や表情によって伝えられるようになってきたこどももいる。今後は、こども達が気持ちを表出しやすいよう、職員が感じ取れるよう活動をしていく。

### ②外出

散歩（外気浴を含め）は積極的に行うことができた。天気や体調を考慮して、時間等は無理なく行えた。

多人数での外出や、社会体験としての外出は実施することができなかった。

## (3) 身体機能向上

ふれあい体操やリフレクソロジーにおいては、普段なかなか動かすことのない関節や、足裏のマッサージを受けることで、良い刺激になっています。

スノーズレンにおいては、五感を刺激しながらも、リラックスできる環境を作り、普段過敏に反応してしまっている感覚を休ませられるように促しました。

## [2] その他

### 体調管理

医療ケアの必要なこどもが多く、体調を崩しやすいことも多いため、家庭と連絡を密に取りながら、体調管理には気を付けた。

欠席時には、様子伺いを行った。

## 8. 行事・バザー報告

## 第1号議案⑤

## あにまあと 2019年度年間行事・バザー予定表

2019/4/1

月	行 事 等	担 当	参加者		バザー等	担 当	参加者	
			はまべ会	ホラ			利用済	はまべ会
4	年度始めの会(1)	三室						
5	開所記念日(7)	西家			ヤマハジャンボリー( )	後藤	○	○
	大掃除( )	環境美化委員会	○					
	はまべ会新旧役員会		○					
	はまべ会総会 (6月の可能性あり)		○					
6	あにまあと外出	金原・間瀬			碧田北高校文化祭( )	天野	○	呼びかけ
7								
8	納涼会( )	後藤・三室						
	地域交流会バザー催付け(30)		○					
9	地域交流会前日準備(6)	実行委員会(西家・桃井)	○					
	地域交流会(7)	実行委員会(西家・桃井)	○	○	地域交流会バザー(7)			○
10								
11	大掃除( )	環境美化委員会			ぬくまるマーケット( )	金原		呼びかけ
					ふくでふれあいまつり( )	友梨	○	○
					光る子まつり( )	間瀬	○	○
12	ふれあい作品展(～)	教田						
	クリスマス会( )	西家・桃井						
	ヤマハ労連観劇( )	友梨	呼びかけ					
1	新年会( )	真由						
2	個別面談		○					
	節分 バレンタインデー	下條 早川						
3	ひな祭り	村松						
	ホワイトデー	桃井						
	はまべ会役員会( )		○					
	はまべ会( ) 年度納めの会( )	友梨	○					

※予定にないバザー等がある場合は、その都度呼びかけをさせていただきます。

## 9. 環境美化委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開き、情報の共有を図ることが出来た。日頃の環境美化については、職員一人一人が意識して取り組めるよう、委員を中心に呼びかけをした。  
毎日の清掃については、職員一人一人が美化につとめ、協力しながら行う事が出来ていた。
- (2) 大掃除については、土曜日に2回実施し、多くの保護者にご協力いただき、ワックスがけ等を中心に実施することができた。
- (3) ゴミの分別については、徹底されている。

## 10. 安全委員会

- (1)利用者の方の安全確保
  - ・委員会内での話し合い、事故防止・再発防止策検証チェックを行い、事故防止に努めるよう情報収集、安全管理体制の見直しを行った。
  - ・「事故報告書」「ヒヤリハット報告書」の集計・活用。
- (2)防災
  - ・避難訓練を毎月1回、避難訓練計画に合わせて実施。
  - ・法人全体で防災内部研修の実施や緊急時安否確認名簿作成・配布を行った。
  - ・H23年度より、各施設・事業所の防火管理者による防災担当者会議を開催し、大規模災害時の対応等について協議を継続している。
  - ・安否確認の方法として、『マチコミメール』の活用を徹底している。
- (3)施設設備（環境）の保全管理
  - ・設備自主点検を適宜実施。  
不具合箇所 … 業者に依頼し、修理を行った。入浴装置・壁の亀裂・エアコンの不具合等
- (4)安全運転管理
  - ・春、秋の安全運転管理協会の街頭指導に参加。
  - ・安全運転管理協会の事務局だよりの連絡。
- (5)緊急事態への対応
  - ・緊急事態（車両等の事故）に対しては、各職員がマニュアルに従い、速やかに対応出来ていた。
  - ・今後も、マニュアルの検討を重ね、分かり易く対応しやすいものにしていく。

## 11. 生活・保健衛生委員会

- (1)健康診断及び記録について

健康診断は春と秋に実施。検査当日の欠席者については、レントゲン撮影は個々にかかりつけの病院等へ行き全員実施した。検尿・検便は随時施設で行い、保菌検査は年2回に実施した。

健康診断の結果については、嘱託医に確認・捺印を頂き各家庭への報告をした。必要に応じて家庭への電話連絡も行った。（通院については家庭にお任せした。）

記録については、個人表、一覧表、嘱託医訪問記録、検査結果等、随時記入するようにした。

服薬は保護者に確認後マニュアルを作成して把握し、服薬ミスが無いように管理した。処方箋は昼食以外の物も提出して頂き、万が一の時に把握できるようにした。
- (2)体重測定について

毎月月初めに実施した。結果は、体重表（カード）に記入し、家庭に確認して頂いた。測定の結果を健康チェックの目安とし、食事量を加減したり通院時に持参する家庭もあった。
- (3)機関誌について

年に4回法人全体で保健だよりを発行した。インフルエンザについては、緊急のお知らせ（情報公開や予防法）等を各家庭に配布し、注意を呼びかけた。
- (4)衛生面について

感染症が流行する前に、予防接種を実施し、勤務中職員はマスクの着用を徹底した。(10月～4月) 毎日の生活については、ウィルバスを噴霧して除菌に努め、排泄介助等には、手袋の着用に努めた。

#### (5)病気予防について

食中毒や風邪・インフルエンザの予防のため外から帰った時や、食事の前にはうがい・手洗いの声掛け・マスク着用を促した。そのため職員が率先して行なう姿勢が多くみられた。

ノロウイルスに関して汚物処理のための消毒薬(次亜塩素酸泡タイプ)の留置、週一回施設内の消毒薬での拭き掃除を徹底した。

部屋の換気や加湿器の使用を心がけ衛生面に注意した。

感染症についての職員会議にて伝え、研修時には対応マニュアルを用いて、実施研修を行い施設内での感染予防を徹底した

#### (5) - 1新型コロナウイルス感染症対策について

コロナウイルス感染症対策として、手指消毒とマスクの着用、室内消毒(毎日)を徹底している。ご家庭には毎日検温と、体調の管理をお願いした。不必要時以外の施設内への立ち入りを制限し、室内へ入る際は検温を実施している。

#### (6)防虫防鼠について

環境美化委員会にて大掃除やバルサン実施。

#### (7)日用品・医薬品について

トイレットペーパーやボックスティッシュ等、在庫確認の上、随時発注するようにした。医薬品については、使用期限の確認と在庫チェックの上、必要に応じて発注・補充した。

個人で昼に服薬がある利用者さんについては、服用の確認と声掛けを行った。

#### (8)歯磨き・うがいについて

各自で食後の歯磨きやうがいを行っていたが、必要な利用者さんに対しては全面介助や仕上げ磨きを行った。うがいも上手に出来るように促したが、うがいが難しい利用者さんに対しては、お茶や水を飲むことで口腔内の清潔に努めた。

#### (9)歯科検診について

訪問歯科による歯科検診を全利用者さん対象に実施し、結果をご家庭へ通知した。

## 12. 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、虐待を未然に防止するために、管理者を責任者とし、虐待防止の組織(人権擁護・虐待防止委員会)を設置。今年度も研修担当者との協力をし、合同研修会にて利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知を図った。また、虐待防止チェックリストは、10月と3月(半期に一度)に実施し、職員一人ひとりが自己意識を高められるようにした。

会議では、合同研修会での内容についての話し合いを行った。利用者さんの安心、安全と人権擁護の観点から、適正な支援が提供され、利用者さんの自己実現と社会参加のための支援を妨げることのないよう、定期的にまたは適宜、委員会を開催し、虐待の防止に努めていく。

また、利用者さんの呼称(呼び方)を「さん付け」に徹底できるように、全職員に呼び掛けを行っている。今後も研修会、会議の中で職員の意識の向上を図るとともに、苦情解決担当者や安全委員会、研修担当者等と連携しながら具体的な活動を計画し、組織として質の高い支援を提供できるよう努めていく。

## 13. 内部研修

水曜日午後の時間を利用し、年間計画に従い研修担当者で起案を立て内部研修を実施した。

平成31年度は、法人全体研修6回実施した。地域生活支援・放課後等デイサービスとの兼ね合いもあり、職員全員参加は難しかったが、多くの職員が出席できた。

## 2019年度 そるとぽっと活動報告

### 1. 在籍者の状況

2019年度の定員20名及び定員緩和措置を含めた月別の在籍状況は次の通り

区分	月	19年										20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22		

【在籍者障害支援区分】 区分6→3名、区分5→12名、区分4→5名、区分3→1名(年度末時点)

### 日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	19年										20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

### 2. その他の利用状況

項目	月	19年										20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
特実 支習 等生	人員	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	延日数	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	
実研 習修 生	人員	0	2	2	2	0	0	8	3	2	2	0	0	21	
	延日数	0	8	4	3	0	0	8	5	6	8	0	0	42	
見 学 者	件数	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	
	人員	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	
ポテ ライ ンア	延人数	0	0	0	3	0	5	0	0	5	0	0	0	13	
	特記				流しそめん		地域交流会			クリスマス会					

### 3. 活動の状況

2名の利用者さんと地域支援1名の利用があった。一日あたりの年間平均利用者数は19.5人で多くの利用を頂いた。年度途中で異動で職員が入れ替り一時的に利用者さんの戸惑いも見られたが徐々に馴染んでいった。3つのグループで活動を進めたが、グループ毎に活動内容や活動場所を工夫し、状況によってはグループを超えて協力体制をとった。ぱせりグループは利用者さん同士の関係性に配慮して、室内をパーティションで区切り活動を始めたが、個々に落ち着ける居場所を確保でき一定の効果が見られた。

作業活動ではポストイングや空き缶つぶし等外での活動も取り入れ、利用者さんの希望する(得意とする)作業を行った。自主製品作りでは、エコビーズアクセサリーの新作やハンガーモップの売れ行きが上がった。その他の活動として外出や散歩、音楽鑑賞、料理作り、また宿泊体験や個別体験を実施した。猛暑が続いたため体調への配慮も考えながら水遊びの機会を多くし涼をとった。施設行事では、ご家族にも呼びかけ利用者さんと一緒にウォーキングや流しそうめん等を実施した。

#### 〔作業活動について〕

##### ① シートカバーセット (大洋工業)

剥がす、丸める、畳む、チャックの空け閉め、袋に入れる等の工程があり、マンツーマンで取り組むことで障がいの重い利用者さんでも行うことが出来た。

##### ② LDキャップ(ブリヂストン)

根気の要る作業だが、得意な利用者さんを中心に取り組むことが出来た。

##### ③ 割箸袋入れ (藤本商会)

紙のさやに割箸を入れる、ビニール袋に入れる、爪楊枝を入れる、ビニール袋を閉じる、おしぼりをポケットに差しこむ、という工程をそれぞれ分担して行い、安定した状況で進めることが出来た。

##### ④ ポスティング(アドポスティング)

2ヶ月に1～2回、歩きながらチラシをポストに入れる。配布エリアは比較的安全なエリアなので交代で利用者さんが参加できた。

##### ⑤ 空き缶つぶし

外に出て身体を動かす作業なので、場面の切替や気分転換にも行った。

##### ⑥ ポストカード作り(自主製品)

利用者さんの手描きの作品をスキャンして新しいカードが出来上がった。

##### ⑦ ハンガーモップ作り(自主製品)

ワイヤーハンガーに短く切った毛糸をくくりつけ、カラフルで表情豊かな「ハンガーモップ」を沢山作成し、販売数も伸びた。

##### ⑧ エコビーズアクセサリー作り(自主製品)

利用者さんが色付けしたペットボトルを、オーブンで焼いてビーズを作り、ストラップやブレスレットに加え、バレッタやヘアピン等新作を作った。

##### ⑨ お茶注文販売

新茶、水出し煎茶、年末年始のシーズンに注文販売を行った。



## 〔その他の活動について〕

### ① 施設行事

- ・ **宿泊体験** (5/31～6/1、6/7～8、6/14～15、6/28～29、7/5～6、7/26～7/27)  
希望者21名がそるとぽつとに宿泊。少人数でないと実施が難しいため、6グループに分かれ、大衆浴場やファミリーレストランを利用して楽しく過ごした。
- ・ **ファミリーウォーキング** (5/18)  
ご家族と一緒に、南島の農環センターを拠点に実施。天候も良く、利用者さん15名とご家族15名が参加。2グループに分かれそれぞれのコースを歩いた。
- ・ **流しそうめん** (7/20)  
家族・ボランティアさんと駐車場で流しそうめんを行った。副食にも変化を付け楽しむことが出来た。利用者さん15名と家族13名、東部地区民生委員さん6名が参加。
- ・ **ヤマハ労連チャリティー公演** (11/29)  
劇団四季「裸の王様」にご招待いただく。今年度は会場が遠くなり例年とは日程が異なったが本物のミュージカルを楽しむことができた。利用者さん7名と付添のご家族2名が参加。
- ・ **クリスマス会** (12/24)  
クリスマス会の後半、グループ毎に分かれてボランティアさんと一緒にケーキのデコレーションと割箸のリースを作成した。利用者さん21名、東部地区民生委員さん6名が参加。
- ・ **新年・成人を祝う会** (1/11)  
皆で新年の挨拶をした後、新成人の利用者さんのお祝いをした。後半はグループに分かれ初詣に出かける。利用者さん16名が参加。

### ② 個別体験

利用者さんの希望に沿って一緒に楽しめる内容を計画し、少人数で出かけた。

5/22	ガーデンパーク(浜松市)	1名参加 (付添2名)
10/24	イオン市野店ショッピング&食事	2名参加 (付添2名)
11/1	ならここの湯(掛川市)	2名参加 (付添2名)
11/14	赤塚山公園(豊川市)	2名参加 (付添2名)
11/15	豊川稲荷(豊川市)	2名参加 (付添2名)
12/18	刈谷ハイウェイオアシス(刈谷市)	2名参加 (付添2名)
2/20	カラオケ&食事(磐田市)	2名参加 (付添2名)
1/24	JRとバスで富士山静岡空港(島田市)	2名参加 (付添2名)
1/31	ビュッフェで夕食会(浜松市)	3名参加 (付添2名)

### ③ 料理作り

レクリエーションやグループ活動等の中で、カレー、どら焼き、ピザ、スパゲッティ、かき氷等を作って食べた。

### ④ その他の余暇活動

絵馬作り、季節合わせた壁面装飾と一緒に製作して施設内に掲示した。磐田市ふれあい作品展に個人と共同製作で参加。体力作りも兼ねた外出やウォーキング、暑さ対策で水遊びを行った。体育館活動は猛暑や支援の手が足りないこともあり取り止めた。はまぼうで行われた「ともしびコンサート」に希望者が参加した。

### ⑥ 避難訓練

毎月、地震または火災を想定して避難訓練を実施、11月には総合防災訓練を行った。今年度は玄関前から駐車場まで移動して避難した。消防署への通報訓練も取り入れて行った。

そるとぽっと 2019年度年間行事・バザー予定表(案)

月	行事等	担 当	参加者		バザー等	担 当	参加者	
			はまべ会	ポ ラ			利用者	はまべ会
4	年度始めの会・開所記念日(1)							
5	ファミリーウォキング(18)		○		ヤマハジャンボリー(26) 磐田北高校文化祭( )		○ ○	○ 呼びかけ
6	はまべ会役員会(7) はまべ会総会(13) 大掃除(22) 宿泊体験	環境委員会	○ ○ ○					
7	流しそうめん(20) 宿泊体験		○					
8	地域交流会バザー一値付(30)	実行委員会	○					
9	地域交流会前日準備(6) 地域交流会(7)	実行委員会 実行委員会			地域交流会不用品バザー(7)			
10								
11	大掃除(22) ヤマハ労連観劇(29)	実行委員会	○ 呼びかけ		光る子まつり(16) 浅羽夢広場( ) ぬくまるマーケット( ) ふくでふれあいまつり( )		○	○  ○
12	ふれあい作品展(12/4~12) クリスマス会(24)							
1	新年会・成人を祝う会(11) 作業参観・懇談会(16・17) 個別面談	各G 各G	○ ○					
2	個別面談	各G	○					
3	はまべ会役員会(10) はまべ会総会(中止)		○ ○					
ともしびコンサート(はまぼう)参加					iプラザ 喫茶ペンギン委託販売			

#### 4. グループ活動報告

##### せさみグループ (男性7名、女性2名)

年度途中でグループ職員の入れ替わりがあり慌しい状況があったが、利用者みなさんは比較的落ち着いて過ごせた。また、半日ずつ入れ替わる職員も加わり全体的に雰囲気が変わった。

また、利用者さんにも加齢に伴い少しずつ体調・体力の変化がみられ、その人に合った支援がより求められるようになったが十分な個別対応ができなかった。利用者さんからの情報を深く受け止めることと、状況に応じた活動内容の工夫が課題となった。

##### ① 作業活動

今年度は、シートカバーセットの作業が中心となった。材料は安定して入荷できた。材料や材質の変更等あったが、一人一人状況に応じて工程の変更などが出来るようになり、安定した流れが出来上がり生産量の増加へ繋がった。時々依頼のあるポスティングの実施も散歩も兼ねて行った。

利用者さんによっては、運搬するといった動きのある作業の方が向いている人もいるため、気分転換も兼ね、作業の一環としてゴミの運搬、はまぼうへ書類の配達、その他納品などを行った。

##### ② その他の活動

今年度も異常気象が多く特に暑い日が続いたので、屋外への散歩を見合わす事が多くなってしまったが、天候の合間を見て、作業活動中にも少人数での散歩に出掛けた。また、ホームセンターや商業施設へ出かけ、買い物を兼ね涼しい店内を散策した。

その他、地域の公園に出かけての昼食や、花見・紅葉など季節を感じ取れる活動を取り入れた。木曜日の午後は、次週の計画を立てるミーティングの時間とし、楽しみにつなげた。一部の人に限られたが、プール体験を活動の中で取り入れた。

##### ③ グループ活動

4月に花見、10月にハロウィンパーティー、12月に民生委員さんの協力のもとクリスマス会を行った。年末にお楽しみ会、1月に初詣、2月に豆まき等も実施した。それぞれに余暇活動を楽しむ姿が見られた。また、季節に合わせてお菓子作りを行った。近隣の工場見学を企画したが、折り合いがつかず次年度へ持ち越しとなった。

##### ぱせりグループ (男性9名)

環境の変化に伴う戸惑いや不安を上手く伝えることが苦手な為に、様々な行動(自傷や他害行為・こだわりなど)となって現れてしまう人が多く、訴えを受け止め聴く態度、応える姿勢で接するよう努めていきました。職員とおしゃべりしたり、からかって面白がっている場面があったり、誰にでも要求を伝えることが出来るなど、安心出来る関係作りができてきたように感じています。

9名の利用者さんが室内を行き来することで、それぞれが影響しあい他害行為や自傷行為に繋がってしまうことが増えた為、パーティーションで室内を間仕切り、個々が安心して過ごせる空間作りを行いました。最初は戸惑いも見られましたが、徐々に生活スペースの変化を受け入れ、時間や活動内容によっても場所の移動ができ、お互いの影響を最小限にしながら生活する姿が見られるようになりました。

日中活動は作業を中心とし、午前は作業、午後は曜日毎に日課を決め作業や外出、自由時間としました。拘りが強く変更が苦手な利用者さんが多いことから、混乱や不安を避けるように出来るだけ日課の変更は少なくしていますが、変化に戸惑い不安定になる場合があるものの少しずつ変化を取り入れていくことで固執や拘りが減り、日常生活が過ごしやすくなるような工夫や提案も引き続き行っていきます。

それぞれが仲間意識をもちながら、人との関わりを大切に安心できる居心地のいい場でありたいと思います。

##### ① 作業活動

主な作業として割り箸、ブリヂストンのLDキャップ分離作業、シートカバー作業、ポスティング、自主製品作りを行いました。作業場所や作業工程の工夫などで安定してできるよう配慮しました。

外部作業としてベッドメイキングにも1名の利用者さんが継続して参加しています。

見通しがもて達成感を感じて終了できるよう各人に合った作業量を設定したり、体を動かす機会や気分転換も兼ねてポスティングに行くなど、目的をもった作業を心掛けました。

## ② その他の活動

週2回、午後に外出し散歩等で身体を動かす時間をつくりました。昨年に引き続き、夏季の暑さ対策の為、ビニールプールに水を溜めて水遊びを行いました。それぞれに楽しめている姿がみられました。

ともしびコンサートには、希望者が参加しています。磐田市作品展には、各人が色塗りをした干支の作品を作って出品しました。

流しそうめんやクリスマス会など大勢が集まる全体行事では、それぞれの状況に配慮し参加できる工夫をしました。大勢が集まる場所が苦手な利用者さんも、穏やかに参加することができました。

## ③ グループ活動

10月は、仮装をしたりデザートを食べたりしながら、ハロウィン気分を楽しみました。2月21日(金)にお疲れ様会を行い、昼食作りとデザートを用意して、普段と違った日課で過ごしました。

### みんとグループ (男性4名)

少人数で構成され、作業棟の静かな環境での活動ができる場所となっています。男性利用者4名ですが、1名は休みがちなため実質3名で活動しています。

日課は、ばせりグループと同じとし職員も協力しあいながら進めてきました。少人数なため細かな対応ができる半面、刺激が少なく物足りなさを感じることもあるため、活動内容によっては他のグループに参加したり、作業品の運搬などで他のグループへ出向いたりして人との関わりをもつよう心掛けました。

### ① 作業活動

主な作業として割り箸、シートカバー作業、自主製品作りを行いました。気持ちの安定を第一に考え作業活動はその手段と捉え、作業量や作業時間はそれぞれのペースに合わせています。予告なしに作業内容を変更しても受け入れられるようになってきました。

### ② その他の活動

週2回午後外出し散歩等で体を動かす時間をつくりました。ともしびコンサートには、希望者が参加し、皆さんと一緒に唄ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しんでいる様子が見られます。流しそうめんやクリスマス会など大勢が集まる場所が苦手な利用者さんも参加できるようになっています。

### ③ グループ活動

5月22日(水):お弁当を持ってガーデンパークで1日散策をしました。

10月28日(月):ショッピングセンターのハロウィンコーナーへ行って仮装し、ハロウィンの雰囲気を楽しみました。

12月17日(火):忘年会としてラーメンを食べに行きました。

## 5. 委員会活動

### ① 保健委員会

家庭やグループホームと連絡を取りながら、利用者さんの日々の体調を見守った。体調を崩して欠席した場合には、電話で様子伺いをしたり、状況によっては自宅訪問をしたりしたが、大きく体調を崩す方はいなかった。

毎月一回、体重測定を実施し体重の変化を把握した。

健康診断は利用者さんに配慮して、グループ毎に法人内の施設に出向いて、採血やレントゲン検査を行った。

今年度も歯科医師会の歯科検診を実施した。

年度末になり新型コロナウイルスの感染が国内でも広がり、法人内で感染症対策マニュアル等を見直し、職員への周知と利用者さんのご家庭に毎日の検温と注意を促した。マスクができない利用者さんも居るため、例年以上に利用者さんの手洗いやうがいの声掛け介助に力を入れた。施設内は帰宅後に毎日室内や送迎車内の消毒を行った。

## ② 環境委員会

6月と12月の2回、ご家族に協力いただき大掃除とワックスがけを行った。また、6月にはバルサン散布をし、害虫駆除を行った。

春から秋にかけて、活動の中で施設周辺の草取りを行ったり、職員が駐車場や裏の河川敷の草刈りを定期的に行った。

ごみの分別は、週に3日それぞれのごみの回収日に合わせ、また古紙やペットボトルについては活動中に利用者さんと一緒に運搬して処分した。ゴミの分別については確認しながら意識を高めて行った。

ごみのない綺麗な状態を維持できるよう、毎日活動終了後に部屋とトイレの掃除を行った。水曜の午後には保健委員会とも協力して、感染予防のためモップがけと手すり・机・椅子等利用者さんが手に触れそうなところの消毒を行った。しかし、洗車を行う事ができないまま年を越してしまったため、洗車も忘れずに行いたいと思う。

## ④ 安全委員会

事故報告の内容を見ると、利用者さんの体力低下に伴う介助リスクが高まった事や、職員による過信や状況判断ミスに起因する事故で利用者さんに辛い思いをさせてしまった。また車両運転時の注意力低下により修繕を必用とする物損事故を起こしてしまった。利用者さんの身体状況の変化や急な変更に弱いという特性を十分把握し対策を取る事、また職員の疲労による注意力散漫な状況に至らないような呼びかけや対策が求められる。リスクマネジメントの観点から事故を未然に防いで行きたい。

昨年に続き、定期的に避難訓練と総合防災訓練(11月)を実施した。今回は、避難場所の見直しを行い建物からより離れた場所で実施した。大きな混乱もなく避難出来た事に一安心するも、テントの設営では、ペグの打ち込みなど普段使いたない道具を使う為、扱える職員に限られてしまった。

防災担当者会議を開催し継続して防災対策に取り組んだ。今年度マチコミの職員利用が実現したので、次年度は利用者さんのご家庭に広げて行きたい。10月と3月には設備自主検査を実施。

〔ヒヤリハット〕 1件 内訳:利用者… 所在不明(1)

〔 事 故 〕 6件 内訳:利用者… 他害行為(2)、転倒(2)

職 員… 物損(2)

## 6. 地域社会との関係

広報活動として、「ふくはまの風」を法人施設と協力して発行した。

バザー等に参加することで、自主製品の販売を通じて地元の方と触れ合う機会を設けたり、外出先や近隣を散策して地域の方との挨拶を積極的に行なった。

磐田市東地区の民生委員・児童委員さんをはじめボランティアさんの受け入れや、磐田北高等学校の介護実習や城山中学校と福田中学校の福祉体験の生徒さんを受け入れ、利用者さんとの関わっていただくことで相互に理解を深めるよい機会になった。

法人内の各事業所、ご家族と協力して「地域交流会」に参加した。地元の方や大勢のボランティアさんのご協力をいただき、音楽や模擬店を中心とした楽しいイベントに参加できた。

## 7. 家庭との関係

連絡ノートに施設と家庭の様子を記入して日々の情報交換を行った。必要に応じて電話連絡や自宅を訪問し様子伺いをした。個別支援計画作成時には全ての家庭と面談を実施し、また個々に家庭からの相談を受け面談を実施した。

地域交流会(9月)、流しそうめん(7月)、ファミリーウォーキング(5月)、大掃除(6月と11月)、活動参観・懇談会(1月)を家族参加で実施した。家族参加の行事等は好評で喜んでいただいたが、ウォーキングは利用者さんにご家族の体力の差が少しずつ出てきているため工夫が必要。

## 8. 苦情解決体制

苦情受付と「こんな一言聞きました報告書」の提出は無かったが、常に謙虚な気持ちでご家族や地域の声に耳を傾ける姿勢で取り組んだ。

## 9. 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、事業所内虐待を未然に防ぐために、管理者を責任者とし、虐待防止の組織（人権擁護・虐待防止委員会）を設置。今年度も研修担当者と協力し、利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知を図った。5月と2月に委員会の開催、前期（10月）と後期（3月）で全職員対象に「虐待防止チェックリスト」を実施し、支援の振り返りをするとともに、人権擁護と虐待防止についての意識向上を図った。集計にあたっては5施設の担当者が集まって行い、結果を各施設で周知することとした。

また、毎月の職員会議で、職員一人ひとりが自分の支援を振り返り発表する時間を設け、緩まないよう意識を高めた。今後も組織として質の高い支援を提供できるよう努めていく。

## 10. 内部研修

職員の専門知識の獲得と技術の研鑽はとても大切なことであり、法人内各施設の研修担当者による合同会議を定期的に行い、職員合同研修会のあり方や自己評価等について積極的に検討を重ねた。職員合同研修は水曜日の午後に時間を設け実施したが、新型コロナウイルスの感染対策上、5回目の合同研修は中止となった。

その他、職員会議の中で文献等の読み合せや出張報告を行った。

日付	内部研修内容	担当者
4/9	研修担当者会議	研修担当
5/14	研修担当者会議	研修担当
6/26	<第1回合同研修会> ① 安否確認コール「マチコミ」の利用説明と登録作業 ② 理事長講話	三室施設長 研修担当 理事長
7/10	新任職員研修	各管理者
9/10	研修担当者会議	研修担当
9/20	研修担当者会議	研修担当
10/30	<第2回合同研修会> ① 「認知症ケア“その人らしさ”見つめて」 DVD鑑賞、グループワーク ② 理事長講話	研修担当 理事長
11/12	研修担当者会議	研修担当
11/26	研修担当者会議	研修担当
12/4	<第3回合同研修会> ① 福浜会の理念について ② ICF(国際生活機能分類)について	理事長 西家さん
1/7	研修担当者会議	研修担当
1/28	研修担当者会議	研修担当
2/12	<第4回合同研修会> ① 理事長講話 ② 「制度の概要と利用者支援の基本」について	理事長 三室施設長
2/18	研修担当者会議	研修担当
	<第5回合同研修会> ※新型コロナウイルス感染対策のため中止	

## 11. 地域生活支援

地域生活支援事業、ライフサポート事業、福祉有償運送を利用して、施設利用時間前後の送迎やサービス終了後の延長時間や休日に支援を行った。ご家族の仕事の都合により15:30以降の支援利用方や定期的な日曜祝祭日の外出支援を希望される方、行動援護のサービス利用に合わせて福祉有償運送を利用する方もいる。

## 12. 相談業務・福田地区チーム検討会参加

相談事業所や市町の担当者と連携を図りながら、利用者さんのご家族や地域の方から相談を受け付けた。内容は、家庭環境の変化に伴い在宅生活を支えるために必要となった各支援についてや、特別支援学校卒業後の進路等について相談があった。

また、福田地区在住のケースについては、各関係機関によるチーム検討会に参加し、引き続き地域生活支援のケース検討を重ねた。

## 13. 中遠地域自立支援協議会(磐田市、袋井市)

今年度より中遠地域の2市が磐田市支部と袋井市支部に分かれ協議を重ねることになった。今まで出席が少なかった磐田市の担当職員が毎回出席するようになり、具体的な課題や意見を直接伝える事ができた事は良かった。その反面、今まで課題を共有し連携してきた袋井市の事業所との協議の機会が無くなってしまった。しかし、事業所間ではネットワークの重要性を感じており、2市の足並みが揃うことを願い連絡を取り合ってきた。

昨年度開催を見送った地域支援部会「自閉症等在宅支援検討会」が企画した「講演会」を9月に開催し、松ぼっくり、緑ヶ丘学園と共に担当者として係わった。静岡県立袋井特別支援学校高等部主事の湯本健治氏による貴重な講話を通して、行動障害の強い自閉症の人への関わり方を学びながら、卒業後利用できる事業所が不足しているという地域の課題を共有できた。

また、磐田市の担当職員に行動障がいがある人たちの支援状況を分かって頂くため、そとぼと及び緑ヶ丘学園の視察と市内の関係事業所が集っての「障がい支援区分」について意見交換ができた。

## 2019年度 松ぼっくり活動報告

### 1. 在籍者の状況

2019年度の定員40名及び定員緩和措置を含めた月別の在籍状況

区分	月	2019										2020			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
退所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
月末 在籍	男	33 4	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33		
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	計	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43		

### 日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	2019										2020			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		

### 2. その他の利用状況

項目	月	2019										2020			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
特実 支習 等生	人員	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	延日数	0	0	6	0	0	0	4	0	0	0	0	0	10	
実研 習修 ・生	人員	0	0	0	2	1	0	4	4	2	0	0	0	13	
	延日数	0	0	0	17	7	0	4	4	2	0	0	0	34	
見 学 者	件数	0	0	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	6	
	人員	0	0	2	2	5	4	0	0	1	0	0	0	14	
ボテ ライ ンア	延人数	2	3	3	7	3	0	2	3	3	1	2	7	36	
	特記														



### 3. 活動の状況

今年度も、Wish、スマイル、ビジョン、樹の4グループでの活動を基本に、お互いの活動を尊重しながら、時には職員の配置を工夫したり、作業などの協力をしながら活動してきた。

又、利用者さんの中で、てんかん発作が連続して起きてしまったり、重積発作のために救急搬送した方もいた。てんかんと投薬の関係やその調整の難しさ、それと活動の在り方を考える1年になった。引き続き、精神科医療との連携も大きな課題と感じている。

仕事については、引き続き(有)フスマ商会、コーケン工業(株)といった企業内での仕事、さくらの苑、於保老健センターでのベッドメイキングの仕事、公園清掃といった外部作業に取り組んだ。又、グループごとに請負の仕事やリサイクルの仕事を行った。長年内職作業の請負をさせて頂いていた「堀住加工」さんが11月で会社をたたまれることになり、取引が終了したことは大変残念であった。地元福田の業者さんということで、利用者さんがいつも「おばちゃん」と言って慕っていたこともあり寂しい出来事だった。

そのほか、今年度もグループ活動や個別の活動を実施した。

### 4. グループ活動報告

#### Wish

心地よい雰囲気を作り、利用者さん一人一人が自分らしさを表現しやすい環境を整えてきた。さまざまな活動を通して、いろいろな人と触れ合う機会を持ちながら、自分の思い、相手の思いを伝え合う機会を大切にしてきた。

#### ① 作業

本人が見通しを持って気持ち良く、仕事に取り組みやすいような環境を整えてきた。また、一人一人の様子に合わせ、作業方法や作業量を工夫してきた。

- アルミ缶/回収・缶つぶし・運搬（三光）
- ふすま梱包材組立て作業/週1～5回（（有）静岡フスマ商会）
- お茶の委託販売（恵松学園）
- リングはめ（コーケン工業）

#### ② 午後の活動

午後の活動は外に出て、健康作りと気分転換を図る内容を多く取り入れた。地域の公園や施設に出掛け、ウォーキングなどをしてそれぞれに合わせて無理なく身体を動かしてきた。また、外出を通じ、地域の方や他施設の方との交流や自然との触れ合いを楽しむことができた。

季節ごとの行事・宿泊体験などは、皆で行き先や食事などの希望を出し合うなかで計画を立てた。一人一人が楽しみや喜びを感じながら参加することができ、いろいろな人と関わりながらリフレッシュを図ることが出来た。個別外出では、少人数のグループで外出する機会を活かし、それぞれの思いに沿った内容を取り入れ、一人一人のペースに合わせ、楽しい思い出が作れるように工夫をした。

#### 【グループ活動】

活動の種類	内 容
宿泊体験	来“留芽にて夕食、竜洋海洋公園オートキャンプ場、コテージ利用、しおさい竜洋入浴
クリスマス会	12月松ぼっくりにてケーキ、お祝いを行う。
初詣	小国神社にて参拝、ことまち横丁にて食事
年度納めの会	1年間の振り返り3月松ぼっくりにて行う。

## 【個別外出】

行き先	内容
清水港クルーズとエスパルスドリームプラザ	ベイクルーズとちびまるこちゃんランド見学
御前崎、なぶら市場、浜岡原子力館、砂丘	散策と外食
袋井グランドボウル、凜や、ジョイサウンド	ボーリング、居酒屋食事、カラオケ

## スマイル

利用者さんひとりひとりにとって1日の見通しが立ちやすいカリキュラムを組むことで、安心して活動に参加できるように環境を整えた。

### ① 作業

利用者さんひとりひとりに合わせて作業を組み合わせていった。また、集中して作業を行える環境を整えていく中で利用者さんのエンパワーメントを高めていけるよう配慮した。様々な作業に取り組む中で個々のスキルアップ、能力の高さを改めて実感できた。

○ブリヂストン（LD塗装下キャップ清掃作業、LD下パック清掃作業）

○コーケン工業（リングはめ）

○大洋工業（保護カバーの袋詰め）

○缶回収（5箇所）※とんぼ茶屋→R2.2月で終了。

○缶つぶし（必要に応じて実施）

### ② 午後の活動

午後は、「外出」を基本とし、ひとりひとりがリフレッシュできるよう心がけた。四季を感じながら身体を動かす良い機会となった。選択する経験、そして楽しみになるようにと外出先の自動販売機でジュースやアイス等を購入する機会を作り、利用者さんの楽しみに繋がった。週1回、「内職の日」を設定。1Fを利用するようになり、室内活動もできるようにもなった。

### ③ その他の活動

#### ○ グループ外出・活動

季節に合わせて外出先を選び計画・実施した。グループ活動としては、月2回おやつをもって公園へ出掛けた。（地域内の店でおやつ、大判焼き等を購入）

利用者さんが楽しめるような活動を来年度も計画していきたい。（お菓子作りなど）

時期	内容		
12月	プチクリスマス会 （クリスマスケーキ作り）	1月	初詣（小国神社） &外食（かつ平）
2月	おしる粉づくり（白玉団子入り）	3月	お花見（カワセミ公園）&マクドナルド（テイクアウト）

## ○ 個別外出

年に1回、希望者対象で実施した。各利用者さんが楽しめるような場所や内容を計画したことで、普段とはまた違う素の表情を見せ、リラックスできる時間となったと思われる。

時 期	行 き 先	内 容
2月	袋井グランドボウル、凜や、ジョイサウンド	ボーリング、居酒屋食事、カラオケ
2月	森町～アクティ森	散策と外食

## ○ 宿泊体験 (11/15～11/16)

松ぼっくりの施設を利用して実施。宿泊体験にも慣れてきて比較的落ち着いて過ごす事ができるようになってきている。「かし亭」での食事を楽しみ、入浴施設(しおさい竜洋)を利用し入浴も楽しめた。

## ビジョン

### ①作 業

【内職、仕事について】

- ・堀住加工(袋入れ、ホチキス止め作業)～11月までで都合により終了。
- ・(有)寺田電子産業(袋入れ、ホチキス止め作業)12月～
- ・コーケン工業(リングはめの仕事)
- ・静岡フスマ商会(梱包用のダンボール作り)
- ・さくらの苑、於保老健センター(ベッドメイキングの仕事)
- ・缶回収

※作業後の時間に軽体操やストレッチをしたり、ゆっくりと新聞を読んだりできるようなリラックスする時間を設けるように心掛けました。

### ②午後の活動について

午前引き続き内職など仕事をする人もあれば、公園で身体を動かしたり、図書館でゆっくりと音楽を聴いたり、新聞を読んだりして、リフレッシュする人もありました。室内活動もカラオケで歌ったり、卓球やキャッチボールで身体を動かしたり、かるたやトランプなどのゲームを楽しみました。また、パソコンを利用して、個別外出の予定を立てたり、外出先のことを調べたりもしました。活動内容について皆と相談し、お互いに気持ちに折り合いをつけながら、楽しく活動に参加できるように工夫してきました。

### ③その他の活動について

利用者さんの思いを大切にしながら下記のように行事を行ってきました。

- ・個別外出 ... 個々の希望に沿って年1回実施しました。  
(映画鑑賞、サッカー観戦、カラオケ、ボーリング、ショッピング)
- ・グループ外出...季節ごとの活動として、いくつかのグループに分かれて実施しました。  
(初詣、買物、カラオケBOXなど)
- ・宿泊体験 ... 7/12～13、7/26～27の2回に分けて実施しました。

利用者さんたちが楽しみにしている年間行事のひとつになっています。日課を終えて、ななつぼしやリフレUで入浴を済ませてから、参加している皆さんの希望にそって外食をしました。夜は、仲間同士でおしゃべりをしながらお酒を飲んだり、テレビを見て楽しみました。

- ・季節の行事...七夕飾り作り、クリスマスの昼食会、節分豆まき、ハロウィン、初詣

### 【グループ活動】

活動の種類	内 容
クリスマスパーティー	ケーキ、オードブル、テイクアウト利用し会食
宿泊体験	松ぼっくりを利用して宿泊、入浴（しおさい竜洋、ななつぼし、リフレU）、外食、花火、お酒を楽しむなど
初詣（お参りと外食）	小國神社、五社神社、回転ずし、サガミ、掛川さわやか、～2回に分かれて実施。
年度納めの会	お菓子やジュースを食べながら楽しむ。

### 【個別外出】

行 き 先	内 容
ららぽーと磐田	映画鑑賞（名探偵コナン）・食事・買い物
菊川方面外出	おもちゃや巡り、食事、買い物
袋井グランドボウル、コート ダジュール	ボーリング、外食、カラオケ
袋井グランドボウル、ジョイ サウンド、凜や	ボーリング、外食、カラオケ
ヤマハスタジアム	サッカー観戦、買い物、食事
浜松市野ショッピングセンター	外食と買い物

## 樹G

環境が変化する中でも、気持ちが安定し、落ち着いた場所を保てるよう心掛け、その中で、楽しく過ごす事が出来、「思い」を大切に認めあう関係になれるよう見守り支援してきた。

作業面では、朝の会等で取り組む作業を選び、目標を持てるよう工夫してきた。目標を持つことで、本人自身が責任を持つ事ができ、また充実しているように感じた。

活動面も、朝の会等で話し合い午後の活動などを決めた。朝に決める事で、午後の活動に取り組み易いようにしてきた。リラックスできる場になれるよう一緒に活動するメンバー、人数等も考え取り組みをした。散歩・卓球・ペットボトルボーリング・ダンスなどの簡単なスポーツも楽しく参加できるよう行った。身体的な事も考え、継続して仕事前に簡単なヨガ（体操）も取り入れ、生活のリズムとしてきた。また、全員・小人数で活動する事を交互に行う事で、他の利用者さんに合わせる力を持つことが出来、自分の気持ちを言い合える関係作りが出来るようめざしてきた。

### ① 作 業

落ち着いて気持ちよく作業に取り組めるよう、環境を整え、作業への意識、意欲が継続的に持てるようにした。

- ・ ㈱コーケン工業（リングはめ作業）
- ・ 千栄加工（クリップ・カード入れ）
- ・ 堀住加工（袋入れ）～11月にて終了。12月～(有)寺田電子産業にて袋入れ開始。
- ・ 公園清掃（ふるさと公園）
- ・ (有)静岡ふすま商会（ふすまの組み立て・出荷用の箱・出荷時の衝撃緩和材作り）
- ・ 自主製品（曼荼羅アートのメモ帳・ノート、ポチ袋、縫製品等）

## ②その他の活動

### <午後の活動>

意見を出し合い、午後の活動は選び決めていった。また、利用者さんとの話し合いで、樹ピック(オリンピックにちなんで)を継続的にを行い、楽しく身体を動かし参加できるものにしてきた。また、行事等も意見を取り上げ、話し合いを持つ中で計画し、ハロウィーンも仮装したり、クリスマス会・豆まき・年度納の会等、利用者さんと一緒に準備をして楽しんだ。

(内容：ドライブ、買い物、散歩、カラオケ、DVD鑑賞、おやつ作り、パソコン、音楽鑑賞、wiスポーツ、サッカー、風船バレー、卓球、ペットボトルボーリング、リレー競争等)

### <グループ外出>

利用者さんが意見を出し合い、計画を進めていった。

\*毎週月曜日はグループ全体での活動を心掛けた。(樹リンピック・散歩等)

### <グループ活動>

活動の種類	内 容
クリスマス会 (12月)	準備の段階から利用者さんが意見を出し合い、企画する。サンドウィッチやオードブル、ケーキ、ピザ、フライドチキンを囲んで食事、その後それぞれが何かしら出し物等を披露して楽しむ。
初 詣 (1月)	・五社神社、鴨江寺、イタリアンレストラン「ラフェスタ」 (行きつけのレストランでのボランティアさんと食事会も含む)
年度納めの会 (3月)	コロナウィルスの感染にも配慮し、年度のまとめの会を簡単に行った。ボランティアさんには感謝を伝える機会とした。

### <個別外出>

個々の希望に応じて場所等決めていった。他のグループの利用者さんと一緒に行く機会も設けた。お小遣いもある中での活動なので、また違った楽しさを味わっている様子が伺えた。

行 き 先	内 容
小国神社、イオンショッピングセンター	買い物と散策、外食
豊橋のんほいパーク	散策、外食、買物
三つ庵とコートダジュール	食事とカラオケ
清水港、エスパルスドリームプラザ	散策と外食、買物

### <宿泊体験>

9月20日～21日に、松ぼっくりで宿泊を行った。利用者さんが主体となって意見を出し合い内容を決めていった。恒例で、楽しみな行事でもあるのでそれぞれのペースで、無理なく過ごすことが出来ていた。食事や買い出し、お風呂、花火などの場面ごとに、それぞれの楽しみ方をして過ごしていた。

## 5. 音楽活動

### 【ともしびコンサート】

音楽活動を中心に活動しているNPO法人に依頼し、月1回、季節感のある音楽(歌)や楽器、歌のリクエストなどに親しむ機会を設け、室内コンサートを行う。「ともしびコンサート」も恒例となっており、専門家による演奏を聴いたり歌を歌ったり、皆で楽しくリフレッシュする時間となっており、参加者同士の交流もみられた。

## 6. 環境美化委員会

- ◎大掃除・・・年2回に分け、ご家族の力を借りながら実施した。  
第1回目・・・8月中に可能な時に職員で実施～床の清掃、ワックス掛け、バルサンを職員のみで実施。
- ◎日常の掃除・・・毎日放課後にトイレ掃除・床のモップがけを行ってきた。また、毎週水曜日、金曜日の午後の活動で掃除を組み入れ、利用者さんと一緒に取り組んできた。(毎日使っている作業室や食堂・トイレ・車洗い等)
- ◎草刈り・草取り・・・9月2日(土)の地域交流会前にご家族や法人内の職員に協力を仰いで実施した。
- ◎ゴミ出し・・・市の定める規則に従って収集日の前日にゴミの分別を行い、当日ゴミ当番が集積所へ出した。古紙・ダンボールについては、市内に設置してある古紙回収ステーションへ搬入して処分した。
- ◎施設周りの美化・・・施設の周囲燃えやすいゴミや怪我に繋がりそうなゴミがないか確認をし、処分をした。
- ◎粗大ゴミの処分・・・地域交流会と大掃除の時期に合わせてコンテナを借り、施設内やハウス等の整理を通して粗大ゴミの処分を行った。
- ◎防虫対策・・・8月23日(金)の放課後、施設内及び作業棟内において、一斉にバルサンを実施した。

## 7. 安全委員会

### ① 活動の報告と反省

- ・年度内の事故は2件、ヒヤリハット報告は4件。例年より事故が少ないが反面、利用者さんが怪我をしてしまう事故があり、今後再発防止に努めたい。
- ・職員間の連携が問われるような場面が事故報告、ヒヤリハット報告それぞれに見られた。

### ② 来年度に向けて

- ・ケース検討していく中で利用者さんへの理解に努め、利用者さんが安心した気持ちで過ごせるようにしながら、リスクを少しでも減らしていけるように職員間の連携を高められるようにコミュニケーションをとっていく機会を大切にしていきたい。
- ・朝のミーティングや職員会議を通して、交通事故の情報や時季ごとの運転に関する注意事項を職員に伝達、回覧をしていく中で、交通安全の意識を高める機会を設けた。

## 8. 生活・保健衛生委員会

### ① 健康診断の実施(春)(5/24)

レントゲン検査(4/26) 採血、保菌検査、検尿、血圧、身体測定、嘱託医による問診  
健康診断(秋)(11/5) 採血(春に未受診の方)、保菌検査、検尿、嘱託医による問診  
歯科検診実施。(10/31)

### ② 記録の管理・記入・・・健康記録表、健康診断個人表、健康診断結果表、嘱託医訪問記録、投薬記録(緊急用も含む)の記入 ⇒松ぼっくり～発作の記録は、各グループでケース記録として残している。投薬記録の変更も十分でなかった。

### ③ 個々人への衛生面への配慮

⇒入浴、洗髪、整容、手洗いなどをチェックし声かけや家庭への連絡等を行なった。

### ④ 感染症への対応

- ・インフルエンザやノロウイルスが流行期には、手洗い・うがいの声かけ、部屋の換気の実施などを積極的に行なった。水曜日の午後の清掃終了後、次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行なった。体調不良の人など感染症が疑われるような場合は、その都度消毒を行った。2月からは、コロナウィルスの感染予防の為、毎日の施設内消毒、職員、利用者さんの検温を継続した。

- ・ インフルエンザ⇒(利)今年度は0名  
(職)3名・・・家族の感染と本人感染による出勤停止)
- ・ 嘔吐下痢症、急性胃腸炎の感染は見られなかった。※吐物処理セットを購入し、各グループと各車両に設置するようにした。
- ⑤ 保菌検査・・・利用者さん、職員共に、健康診断時(春・秋の2回)実施。
- ⑥ 『保健だより』の発行・・・時期や状況に合わせて発行し情報提供をした。
- ⑦ 体重測定の実施・・・毎月1回実施し、体重表を通して各家庭にお知らせした。
- ⑧ 職員研修・・・今年度は保健に関する研修は実施していない。

## 9. 行事・バザー報告

今年度は、行事の中味を少し吟味して試行的に取り組むことにした。松ぼっくりの場合、行事は元々多くはないが、施設全体では大人数になってしまい参加が難しい、しかしグループごとでは少し変化がなく寂しい方もいる。今年度は準備が整わず提示することが遅くなってしまったことやコロナウィルスのこともあり一部実施出来なかったため反省だが、全体行事の中の選択みたいなことを考えた。例：ヤマハ労連観劇の際の選択、その時々々の季節感のあるイベントや嗜好を同じくする人同士での参加など～イルミネーション、キウイ狩りなど

又、例年行っていた家族会との合同ウォーキングも新型コロナウイルス感染初期ということで大事をとって中止したことは残念なことであった。来年度についても事態が収束しなければ、上記のような全体行事の在り方も含めて考えていかななくてはならない。

月		行事等	担当	バザー等
4	20日	地域交流会会合(父母の会)		
	26日	レントゲン検診		
5	24日	血液検査	26日	ヤマハジャンボリー
6	7日	はまべ会役員会・会計監査		
	13日	はまべ会総会	22日	地域交流会はまべ会打合せ
	17日～	袋井特別支援学校実習		
7	8日～	浜松学院短大実習		
	12, 13日	ビジョンG 宿泊		
	25日～	浜松学院短大実習		
	26, 27日	ビジョンG 宿泊		
8	11日～16日	夏季休暇	28日	地域交流会バザー値付け
9	4日	はまべ会草刈り		
	6日	地域交流会前日準備	7日	地域交流会バザー
	7日	地域交流会		
	20～21日	樹G 宿泊体験		
10	17日	城山中学校体験学習		
	21日～	袋井特別支援学校実習		
	25日～26日	WishG 宿泊		
	31日	歯科検診		
11	5日	秋の健康診断	16日	光る子まつり
	7日	福田中学校体験学習	17日	ふくでふれあいまつり
	15, 16日	スマイル宿泊体験		
	29日	ヤマハ労連観劇		

12	4日～12日	ふれあい作品展、キウイ狩り		
	17日	イルミネーション		
	19日～	各Gクリスマス会		
1	12/29～1/5	冬季休暇		
	15日～	各G初詣		
2	22日	ウォーキング(中止)各G面談		
3	6日～	大掃除(中止)・個別面談		
	24日	はまべ会総会(中止)		
毎月1回 避難訓練実施、随時 浜松学院短大(保育実習Ⅰ)、磐田北高(介護実習)				
随時 袋井特別支援学校現場実習及び保護者福祉事業所体験				

## 10. 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、虐待を未然に防止するために、管理者を責任者とし、虐待防止の組織（人権擁護・虐待防止委員会）を設置。昨年度に引き続き研修担当者と協力し、合同研修会にて利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知とともに学ぶ機会を持つとともに、日常的な自己点検をするために「虐待防止チェックリスト」を機会あるごとに実施するよう努めた。又、利用者さんの呼称の面も、朝のミーティングなどで呼びかけ、自分自身で確認するように提案した。

## 11. 内部研修

年間計画を基に研修担当者で企画の立案と実施を行った。水曜日の午後の時間を研修活動に充て、法人全体の合同研修を4回にわたり実施した。

今年度も合同研修会を実施し、事業所間における情報共有や意見交換を図る機会を設ける中、日頃の支援を見つめ直す機会を設けることができた。

引き続き、職員の資質向上に向け、外部講師を招いたり、施設内研修を取り入れたりするなど、内容や方法を改めて見直し、それぞれが意欲を持って研修会に参加できるように工夫していきたい。

### <研修内容>

日付	内容	担当者
6/26	安否確認「マチコミ」についての説明 理事長の話（合同研修会）	防災担当者
10/30	DVD鑑賞（プロフェッショナル仕事の流儀 認知症ケア その人らしさをみつめて） 理事長の話（合同研修会）	研修担当者
12/4	福浜会の法人理念について ICF（国際生活機能分類）について 理事長の話（合同研修会）	理事長 あにまあと職員 （西家）
2/12	相模原事件について 制度の概要と利用者支援の基本について	理事長 あにまあと職員



## 12. 苦情解決体制

2019年度としては、苦情受付として0件、こんな一言聞きました報告1件という状況であった。内容については、職員の対応に関するもの1件であった。特に「松ぼっくり」としては、家族の方との連絡や伝達面での確認に関することが挙げられていた。今後の課題としたい。

## 13. 相談・福田チーム検討会

施設等で受ける相談については、相談支援専門員・リーダー・地域生活支援担当者を中心に、磐田市、袋井市等の委託相談事業所などの関係機関と連携をとりながら実施している。内容は、通所に関する相談・在宅者への生活支援、学齢児の長期休暇時や放課後の支援相談・進路相談等。また福田地区在宅者のケース検討会(福田チーム検討会)に年5回ほど参加。地区内の各機関が一致した認識が持てるように、協力して進めている状況である。

又、高齢者のご家族を持つ家庭での利用者支援について、地域包括支援センターなどの相談機関との連携はもちろん、障害福祉関係施設だけでなく介護保険関係事業所とのつながりも、今後ますます必要性があると思われる。

## 14. 中遠地域自立支援協議会

中遠地域自立支援協議会は、磐田市及び袋井市が地域生活支援事業実施要綱(厚生労働省通知)に基づき、障害福祉に関するシステムづくり(相談支援事業等)のため、関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等を推進する目的で設置されている。代表者会、幹事会、個別支援会議を軸に構成されており、参加については、今年度も法人全体で担当職員を決めて、その職員を中心に必要に応じて参加した。

## 2019年度 潮の香活動報告

### 1. 在籍者の状況

2019年度の定員（20名）の月別在籍状況（契約者数）

区分	月	19年										20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	
退所		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
月末	男	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	16		
	女	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6		
在籍	計	21	21	21	21	21	22	21	21	21	21	21	22		

日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	19年										20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
退所		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
月末	男	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
在籍	計	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	0		

### 2. その他の利用状況

項目	月	19年										20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
特実 支習 等生	人員	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	延日数	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10	
実研 習修 ・生	人員	0	2	2	2	0	2	2	2	2	2	0	0	16	
	延日数	0	3	3	2	0	3	5	1	3	4	0	0	24	
見 学 者	件数	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	人員	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
ボテ ライ ンア	延人数	2	5	4	3	2	4	5	7	8	7	2	3	52	
	特記														

### 3. 活動の状況

#### (1)仕事について

本年度も、地域に根ざした自主製品の「祭典用のき花作り」、請負の「有限会社寺田電子産業（ヤマハ部品）の袋詰め・ホチキス留め」「ダイオ化成株式会社（網戸張替用ローラー）の袋詰め」、「有限会社マックスのダミー作業」の仕事を行ってきた。

また、地域の一員として事業所で働くことを考え、引き続き「コーケン工業（自動車部品）」と「静岡フスマ商会（段ボール組み立て等）」と「カネ長水産（しらす加工）」と「於保老健センター（ベッドメイキング）」へ出向を行ってきた。

#### 《のき花製作》

今年度も祭典用のき花の、製作総本数約19,000本（寄付を含む）を利用者さん・職員及びボランティアさんの協力を得て作業を進め、無事に出荷することができた。

※本年度も竜洋地区、浜松北地区や磐田北地区等から注文を頂いた。

#### 《請負作業》

「有限会社 寺田電子産業」では、ヤマハ部品の袋詰めを行ってきた。日によって量や部品の形・大きさが違っているが、そのことにも対応する能力を持ち、積極的に作業に取り組んできた。「ダイオ化成株式会社」の仕事は、網戸張替用のローラーを袋に入れてから箱詰めする作業で、ひと月で4000本を請け負い、定期的に納品してきた。また、電気部品のカバーへのダミー作業「有限会社マックス」は、小さなゴムを指で穴に入れ、道具で押し入れる細かな作業だが、作業に慣れたことで作業速度が安定してきている。

どの作業でも、それぞれの工程を役割分担することで完成を目指すことができている、一致団結したチーム力が強みである。

#### 《外部作業》

地域への社会参加と就労支援の一環として、地域の事業所等に積極的に出掛けて仕事をすすめる機会を継続した。

コーケン工業(株)には現在も男女4名が出向しており、新しい作業に挑戦したり作業量を増やしたりするなど、自分の持つ力を十分に作業に発揮し、充実した毎日を過ごすことができている。

(有)フスマ商会とカネ長水産には男性1名ずつが出向している。すでに長く働いているため事業所との信頼関係もあり、安定して出向できている。

また、於保老健センターへベッドのシーツ交換作業に1名が出掛けている。他施設の利用者さんと共に出向き、協力して作業に取り組んでいる。

#### (2)その他の活動

毎日が作業中心の生活であるため、皆さんが楽しめる活動を目指し年間計画を立てて実施してきた。各種行事・外出には利用者さんの意見を取り入れながら企画し、充実した楽しい活動内容となった。

##### ① スポーツ・ウォーキング・レクリエーション等

今年度のスポーツは「運動会」で、南島体育館で実施した。ご家族にもご参加いただき、パン食い競争やキャタピラー競争などを競い合い、笑いの絶えない楽しい会となった。

土曜レクでは、屋外では公園の散策や野球大会などで体を動かし、室内では手作り双六を作成したり、壁面画を作成したり、リフレUの広い部屋を借りてハンカチ落とし等、皆さんで楽しめる内容を実施した。

##### ② 音楽・美術の鑑賞及び出展

美術関係では、ふれあい作品展に2名が出展し、趣味である写真や漫画の力作を多くの方に鑑賞してもらい、大きな喜びを感じると同時に、次回への出展意欲が増すことにも繋

がった。また、皆さんも多くの作品に目で触れる機会を得たことで、それぞれの作品の想像力に驚いたり、感心したりして、自分たちも出展してみたいという思いが膨らむ経験となった。

音楽関係では、地域交流会で間近に楽器演奏や歌を聴き、会場が一体となって楽しんだ。

また、今年度もヤマハ労連のチャリティー公演にお招きいただき、ミュージカル「裸の王様」を心ゆくまで楽しむことができた。

施設内では、「クリスマス会」に音楽活動をなさっている利用者さんのご家族を迎え、プロジェクターを使った演出で懐かしいメロディーや童謡を楽しんだ。

また、利用者さんによる「ハンドベル演奏」の練習時間を作り、行事の中で披露する機会を作った。皆さんが参加できる活動であり、今後他施設での演奏も検討したい。

日常的な音楽活動は、利用者さんとひと月ごとに選曲した歌を、朝の会で毎日欠かさず歌ってきた。職員も交わり、利用者さん達と歌う曲を相談することも楽しみのひとつである。また、歌の時間を組み込むことで、朝の会への参加を促す時間になったり、声を出すことで活力が増したりする効果も期待できた。

### ③ 野外活動

利用者さんとのコミュニケーションから得た情報や、季節を感じることでできる活動を意識して計画した。春には敷地川への「お花見」、初夏には黄色いレシートキャンペーンのご厚意にあずかった「バーベキュー大会」、夏には「納涼祭」を開催し、職員による露店や、利用者さんに協力して頂いたお好み焼き屋などを楽しんだ。秋には豊橋ののんびりパークに出掛け、動物を見ながらの「ウォーキング」、11月には「ミニ旅行」と称した日帰り旅行を計画して、「キウィ・フルーツカントリー」で珍しいキウィを堪能し、広い園内をゆっくりと散策した。

様々な活動を通し、利用者さん相互の交流と、職員との距離を縮めるいい機会となった。

### ④ 個別体験

今年度も、年1回の個々が希望する体験を行った。個人や少人数で出掛け、それぞれ一日を楽しく過ごすことができた。

7月25日	ショッピング	1名参加（職員 1名）
8月23日	映画鑑賞	1名参加（職員 1名）
9月20日	カラオケ	2名参加（職員 1名）
10月 4日	エスパルスドリームプラザ（清水）	4名参加（職員 2名）
10月28日	名古屋城（金シャチ横丁）	5名参加（職員 2名）
11月20日	富士山世界遺産センター	5名参加（職員 2名）
12月13日	亀玉の湯（温泉）	1名参加（職員 1名）

### ⑤ BDショッピング（バースデーショッピング）

利用者さんの誕生月に、朝の会等でお祝いの言葉をかけたり、買い物に出掛け決められた金額（500円）の中で好きなものを購入したりと、楽しく実施できた。（例：お菓子、日用品、CD、雑貨など）

### ⑥ 地域清掃

今年度も社会参加の一つとして、地域のごみを拾う活動を続けてきた。ごみを「拾う」「ウォーキング」ということから、「ひろ道ウォーク」と名付け7年余りに亘って行っている活動である。活動中には地域の方に挨拶をする機会もあり、「ありがとう」などの声を頂いたりすることで、積極的に「まちをきれいにする」意識が高まっている。

活動は月に一回のペースで行い、夏季や冬季は健康上の心配から実施を見合わせた。今後も地域貢献活動として継続していきたい。

## ⑦ 創作活動

土曜レクで行った「利用者さんのいい所双六」の制作では、一人ひとりを思い浮かべながら、相手のいい所に気付くいい機会となった。

また、磐田北高校の実習生とのレクリエーションでは、七夕や豆まきの鬼などをちぎり絵で大型壁面画を製作した。それぞれがA4用紙程の大きさのエリアを受け持ち、皆さんが完成したところで一つの大きな作品となった。また、同じ方法で、春には桜の大木を製作した。それぞれのパーツを組み合わせることで出来上がる作品は感動的なものとなった。利用者さんも、一つひとつの作業では想像できなかったものが、大きな形となって現れることで、喜びと自信に繋がった。

また、利用者さんの発案で12月のふれあい作品展に千羽鶴を出展できるよう、コツコツと制作を続けている。

## ⑧ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（マックスバリュ福田店投函分）

今年度も皆様の温かなご協力により、54,800円もの助成をいただけた。この機会を生かし、以前から利用者さんの念願だったバーベキュー大会を実現できた。当日は好天に恵まれ、利用者さんの非常に嬉しそうな笑顔が印象的な楽しい一日となった。

多大なご協力を頂いた皆様方に、改めて感謝申し上げたい。

## ⑨ その他の活動

二か月に一度、ボランティアさんによる「お話の会」を実施した。毎回、色々な本や紙芝居をご用意いただき、午後のひと時をゆったりとリラックスさせていただける活動となっている。また、ボランティアさんのお手伝いを進んで行ってくれるなど、外部の方との交流の一つになっている。

今年度もかもめ～るのご寄付をいただき、日頃お世話になっているボランティアさんや事業所さんなどに季節の挨拶と共に感謝の気持ちを届けた。また、例年、年度末に開く「ボランティアさんに感謝する会」が、コロナウイルス感染症の心配から中止となり、寄せ書きを作成した。利用者さんそれぞれの気持ちが温かいメッセージの形となった。今後も文字や絵を描く機会を作っていきたい。

## (3)食事等について

- ・顎が弱い方、歯の揃わない方には、食べやすい大きさに刻む支援を行った。
- ・健康に配慮しなければいけない方については、給食の油物を少し減らしたり、ソース・醤油をかける量を調節したりする支援を行った。
- ・声を掛けることで苦手なものを食べられる方に対しては、個別の対応を行った。
- ・食事後、食堂の床の雑巾がけを利用者さん全員の当番制で行ってきた。進んで取り組める利用者さんが多くなった。

## (4)健康管理及び安全

利用者さん一人ひとりの健康を維持し、体力の向上を図るために、次のような支援をしてきた。

- ・日常生活の衛生面においては、手洗い、うがい、歯磨き等の励行を繰り返し進めてきた。
- ・施設内の消毒は感染症の流行する時期に毎日実施した。（その他の時期は週に1回）

特に、3月のコロナウイルス感染症の心配が出てからは、日常的にウィルバスを噴霧したり、施設内の除菌の徹底を図ったりした。また、外出後、食事前には除菌ジェルで手指の消毒を促した。

- ・部屋の換気を心掛け、日常的に加湿器を使用した。

- ・感染症について職員に伝え、施設内での感染予防の意識を高めた。
- ・朝のラジオ体操・ストレッチ運動・散歩は毎日欠かさず実行できた。ストレッチ運動では利用者さんに先生になってもらい、意識を高めてもらった。新規の活動としては、職員が考案した音楽に合わせた体操や、ジョギングなども日課に取り入れ、体を動かす時間を多くした。
- ・心の悩みを訴える利用者さんには意識的に声を掛け、話しがしやすい関係作りに努めた。  
また、表情や身体の変化が見られる利用者さんには職員から積極的に話し掛けたりして、その対応を図った。
- ・通所のための自転車利用者に対しては、帰りの会等で毎日のように交通安全注意を呼びかけてきた。  
また、強風や雨などで自転車での帰宅が心配な利用者さんには個別の対応を行った。
- ・地震（津波）及び火災を想定した避難訓練を本所と作業棟で毎月交互に実施し、安全で迅速な避難ができるようさまざまな場面での「予告なしの訓練」を行ってきた。  
11月28日は、磐田市消防署の協力を得て総合防災訓練を実施した。職員による通報訓練、消火器の取扱いと消火方法を実践した。その後、消防署員からのお話を伺い、災害での注意点を全員で再確認した。

#### 4. 委員会活動

利用者さんの生活・健康管理並びに安全・環境整備等について委員会を設け、他施設と協力しながら協議や活動を行ってきた。

##### ① 生活・保健衛生委員会

- ・健康診断の実施（5月24日、11月5日）  
レントゲン、採血、嘱託医による問診、保菌検査（年2回）  
身体測定（身長・体重）・検尿と血圧（潮の香で実施）、  
健康診断の結果については、各ご家庭に報告し、特記事項がある方については、個々にお知らせを行った。
- ・個人の衛生面への配慮  
入浴、洗顔、洗髪、整容、うがい、手洗い、歯磨きなどの励行と、家庭との連携を図ったが十分ではなかった。入浴が不十分な方には、施設での着替えと洗濯の支援を行ってきた。このような支援から、自ら着替えたいという気持ちが芽生えてきている。  
手洗い・うがいは外出後必ず行うよう声掛けした。手洗いとうがいがセットになる形で定着しているため、休憩時、昼食前など習慣として行える方が多くなった。
- ・歯磨きは、各自で行えているが、磨きが不十分な方には仕上げ磨きを行った。磨き終わると「歯磨きチェック表」に印を付けるようにして習慣としてきた。
- ・全員が歯科検診を行い、結果はご家庭へ知らせた。
- ・保健だよりを発行し熱中症や感染症の予防を早めに呼びかけた。
- ・体重は毎月計測し、一年間の体重変化をご家庭にお知らせした。

##### ② 環境美化委員会

ご家族の協力を得て、6月と12月に大掃除を実施した。本所と作業棟に分かれ、室内外の清掃・整理・ワックスがけ等を行い、環境美化に努めた。また、気持ちよく作業ができるように作業室の整備や、清掃を行った。日頃から職員全体に呼びかけ、環境美化に意識が高められるよう働きかけた。

花の世話や草取りなども利用者さんと一緒に行った。

③ 安全委員会

- ・会議や朝のミーティングなどで事故防止に関する話し合いを適時行った。
- ・毎月1回施設内外の設備点検を行い、不良箇所の修正に努めた。
- ・今年度はヒヤリハット2件・事故1件となった。職員全体での事故内容の周知を行い、再発防止の意識を高めた。

今後も備品の点検を随時行うと共に、事故予防のための日常的なチェックを行う。

④ 人権擁護・虐待防止委員会

今年度も研修担当者と協力をし、合同研修会にて虐待防止チェックリストを使用し、利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知を図った。虐待防止チェックリストは、10月と3月(半期に一度)に実施し、職員一人ひとりが自己意識を高められるようにした。その後の集計結果は全職員で周知し、改めて自身の支援と照らし合わせるようにした。

5. 行事・バザー報告

月	行事等	担当	参加者		バザー等	担当	参加者	
			はまべ会	ボラ			利用者	はまべ会
4	野外活動Ⅰ(花見)(5) 家族懇談会(25)		○					
5	お話の会(9)			○				○
6	バーベキュー大会(5) 大掃除(20)	黄色いシートキャンペーン 環境美化委員会	○		地域交流会はまべ会 打合せ(22)			○
7	お話の会(4) 運動会(22)		○	○				
8	納涼祭(21) 地域交流会バザー値付け(30)		○		地域交流会バザー 値付け(28)			○
9	お話の会(5) 地域交流会前日準備(6) 地域交流会(7) 退所者お別れの会(25)	実行委員 実行委員	○ ○	○ ○	地域交流会バザー(7)		○	○
10	活動参観及び懇談会(23) 歯科検診(31)	保健委員会	○	○				
11	お話の会(7) ウォーキング(13) 総合防災訓練(28) ヤマハ労連観劇(29)			○				
12	調理実習 大掃除(6) 野外活動(ミニ旅行)(9.11) クリスマス会(27)	環境美化委員会	○	○				
1	初詣・新年会(6) お話の会(9)			○				
2	豆まき(3) 個別面談	担当・サビ管	○					
3	個別面談 職員お別れ会(25)	担当・サビ管	○					
他	4～11月 ひろ道ウォーク実施 個別体験適宜実施 土曜レク(開所日) BDショッピング(誕生月実施)							

## 6. 職員研修

利用者さんの人権を擁護し事業所内虐待を未然に防ぐために、管理者を責任者とし虐待防止の組織（人権擁護・虐待防止委員会）を設置。今年度も研修担当者と協力し、利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知を図った。年間計画を基に研修担当者で企画の立案と実施を行った。水曜日や土曜日の午後の時間を研修活動に充て、今年度は法人全体研修を4回実施した。出来る限り職員全員の参加を目指し、グループワーク等、積極的に意見交換することができた。

また、研修で学んだことを施設内での会議の中で復習し、理解を深めた。

## 7. 苦情解決体制

平成31年度としては、苦情受付として0件、こんな一言聞きました報告1件という状況であった。内容については、「利用者さんへの要望」であった。ご家族や利用者さんのお話を伺い、施設内での配慮をし、楽しくご利用していただけるように対応した。

## 8. 地域生活支援

地域生活支援事業やライフサポート事業、福祉有償運送を利用する、施設利用者さんの時間外や休日の支援を行った。日中一時支援事業もご家庭の要望に合わせ実施した。

## 9. 相談業務・福田地区チーム検討会参加

各相談事業所や市町の担当者と連絡をとりながら、利用者さんのご家族や地域の方から相談を受け付けた。内容は、在宅生活を支えるための各支援について相談があった。個別ケース会議を開いて緊急時の対応なども行ってきた。

また、福田地区在住のケースについては、各関係機関によるチーム検討会に参加し、引き続き地域生活支援のケース検討を重ねた。

## 10. 日常生活自立支援事業・成年後見制度

利用者さん1名が社会福祉協議会の日常生活自立支援事業を、3名が成年後見制度を利用して、生活支援員及び後見人等と協力し、計画的・快適に暮らせるような配慮をしてきた。月に一度の面会も定期的に実施できた。

## 11. 中遠地域自立支援協議会

今年度は、各行政区域における課題を明らかにすることを目的として、これまで2市で一緒にやってきた課題検討等を磐田支部と袋井支部に分かれて実施した。課題(短期・中長期)の明確化、ニーズと現状の社会資源の状況把握等を進め、それぞれ支部ごとに市への政策提言につなげていくというものである。初年度ということで、十分とはいえないが、それぞれの地域にあった組織作りから始まりつつある。

当法人が受託している障害者相談支援センターを始めとして、法人職員も協議会の中で課題別に検討会に参加し、積極的に発信するなどその責務を果たした。



## 2019年度 指定特定・障害児相談支援事業所「結」 事業報告

### 1. 平成24年10月より磐田市の認可を受けて実施する。

#### (1) 事業概要

障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する。

#### (2) 対象者

- ・ 障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用するすべての障害者  
精神障害者の方で、医療との連携を外せない場合、専門性の高い事業所を紹介する事がある。
- ・ 障害福祉サービスを利用するすべての障害児

#### (3) 対象地域・・・磐田市、袋井市、掛川市、浜松市、森町

#### (4) 内容

##### ①計画相談支援

○支給決定時（サービス利用支援・障害児支援利用援助）

- ・ 支給決定又は支給決定の変更前に、サービス等利用計画・障害児支援利用計画（以下、「計画」という。）案を作成
- ・ 支給決定又は変更後、サービス事業者等との連絡調整、計画の作成

○支給決定後（継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助）

- ・ 厚生労働省が示した対象者ごとの標準期間を原則として、各市町で定める期間ごとに、サービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行う（モニタリング）。
- ・ サービス事業者等の連絡調整、支給決定又は支給決定の変更に係る申請の勧奨。

##### ②基本相談支援

- ・ 障害者や障害児からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の他、必要な便宜を供与する支援

### 2. 2019年度を振り返って

- ① 掛川市などの児童を除き、ほぼ100%のサービス利用者に計画相談が実施され、現在はモニタリングを通して、利用者の状況を把握し、課題解決の度合いや新たな課題を探り、今後の方針を確認することが主な事業内容となっている。

モニタリング期間について、平成30年度より標準期間を短縮する見直しがあり、サービス利用の種類によって、1年→6ヶ月、6ヶ月→3ヶ月に変更されている。

- ② 計画相談の目的からも、市の委託を受けている一般相談の事業所や就労・生活支援センター、または地域包括支援センターや介護保険のケアマネジャー等と連携しながら対応することは、重要な事柄となっている。中でも65歳以上となる利用者には介護保険優先の原則のもと、介護認定が求められ、利用者さんの高齢化と共に、老障介護の問題も深刻となる中で、高齢者を取り巻く相談窓口としての、地域包括支援センターとの連携は増々欠かせない状況となっている。

また結の特徴として、重心の方の計画も多く、医療との連携は増々重要となっているが、相談支援専門員が介護保険のケアマネのように周知されておらず、情報が集約されて来るような立場に、名実共に成長する事が今後の課題となっている。

- ③ 児童の場合は「あにまあと」の放課後等デイサービスを利用している方の計画が中心で、大半が重症心身障害児の計画相談となっている。
- ④ 磐田市障害者支援センターが中核となって運営する相談支援専門員連絡会があり、2019年度は年間5回の連絡会を開催している。内容としては、支援センターで毎月行っている、特定相談事業所への巡回を通して、拾い上げた地域の課題や、相談支援事業所で抱えている問題等を皆で情報共有したり、解決に向けた検討などを行っている。
- ⑤ 法人で磐田市障害者相談支援センターの委託を受けた事により、月1回の合同会議を設け、お互いの相談支援状況を報告する中から視野を広げる事ができ、また計画相談の実情を知ってもらい、内容によっては地域の課題として把握してもらうなど、日頃の業務を見直す良い機会となっている。

その他

\* 福田地区チーム検討会 年5回開催・出席

\* 磐田市ケアマネ連絡会

### 2019年度の計画作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	4	1	7	4	6	5	7	6	4	6	16	20	86
(児童)	2	0	2	1	1	3	1	0	0	3	3	5	21
合計	6	1	9	5	7	8	8	6	4	9	19	25	107
モニタリング	27	38	32	48	36	45	29	35	37	43	22	30	422
(児童)	1	1	0	4	1	3	2	0	3	1	1	3	20
合計	28	39	32	52	37	48	31	35	40	44	23	33	442

## 2019年度 地域療育支援センター 事業報告

### 1. 令和1年度の状況

登録者数	前年度末現在	8人		
	新規登録	14人		
	登録抹消	17人		
			<u>R1年度末現在登録者数</u>	<u>5人</u>
在宅支援訪問療育等指導事業	実人員	7人	延べ回数	24回
在宅支援外来療育等指導事業	実人員	14人	延べ回数	18回
施設支援一般指導事業				0回

### 2. 内容については

- ・福祉サービスの利用援助・情報提供
- ・日常生活(医療的ケアを含む)に関する相談支援
- ・家族支援・緊急訪問支援
- ・医療的ケア児の在宅療育訪問支援
- ・就学に関する事、学校卒業後の進路先に関する相談支援・情報提供
- ・就学前(乳幼児)や就学後(児童)の日常生活相談
- ・日常生活及び就労に向けての相談

令和1年度は前年度と同様に重症心身障害児(者)や知的障害や肢体不自由の方を対象とした動きを継続するなか、日常生活上での進路や就労に関する相談も増えた。重症心身障害の方の療育訪問は定期的に行っており、本人・御家族共に喜んで頂いている。支援者(親)の高齢化に伴い本人を含む「家族支援」が必要となるケースも徐々に増えてきている。重症心身障害児(者)のみならず、今後の生活に向けた事業所の見学を希望されるケースやサービス内容について相談を求められるケースも依然多くなっている。

## 2019年度 地域生活支援事業活動報告

静岡県及び各市町が定めた「地域生活支援事業」及び「障害児者ライフサポート事業」実施要綱等に基づき、各市町の委託を受けて地域生活支援事業・ライフサポート事業・福祉有償運送を実施。利用者さん等からの依頼を受け、必要に応じた地域生活支援サービスを提供することにより、障がいのある人やその家族が地域で安心して生活できるための支援を行った。

今年度委託契約して実施したサービス内容は次のとおり。

### 1. 提供サービス内容（各市町との委託契約を受けて）

地域生活支援事業（提供市町村：磐田市、袋井市、掛川市及び森町）

日中一時支援事業

移動支援事業（袋井市＝外出介護事業）

ライフサポート事業（提供市町村：磐田市、袋井市、森町）

ヘルパー派遣（自宅等での支援、外出支援、送迎サービス）、デイサービス

福祉有償運送(提供市町村：磐田市、袋井市、掛川市)

### 2. サービス提供時間

原則として6：00～22：00の間で受け付けをして支援を実施した。早朝や夜間時間帯の支援依頼は無かった。依頼の内容については、その殆どが8：00～19：00の時間内に集中していた。

### 3. 利用状況

法人の事業所に所属する利用者さんや特別支援学校の生徒さんからの依頼が中心だった。新規の依頼については、それほど多く相談は寄せられなかったが、相談があげられた際には施設見学や面談を実施して、要望をお伺いしたり契約を行なった。受け入れ体制の整備を念頭に入れながら、必要に応じて新規登録ヘルパーの採用、法人内施設の職員体制について、関係者を交えて相談しながら対応した。

移動支援に関しては、その目的に沿って余暇活動の充実のための支援を行なった。公共交通機関を利用しての外出の依頼があり、法人職員が主たる支援者として受け入れを実施した。

法人の事業所に所属する利用者さんの早朝時間帯の利用や、日中活動終了後の延長利用、または施設閉所日における日中一時支援や移動支援の利用希望があり、それぞれの施設における職員の受け入れ体制を整えながら、できる範囲で対応している。

特別支援学校の長期休暇時には、受け入れ依頼が毎年のように増加傾向にある。

磐田市や近隣市町や相談支援事業所を通して、いろいろなケースにおける送迎を伴うサービス提供が可能かといった相談があり、その都度各市町とサービス内容について確認をし、必要に応じて契約しサービス提供をしたが、短期の利用にとどまることも多かった。地域での受け入れを基本にしながらも、緊急的なケースを伴う支援についても、なるべく受け入れる方向で検討している。

### 4. その他

土、日、祝祭日などの施設閉所日の支援に関しては、登録ヘルパーのみで支援を受けていることがあるため、利用者さんが楽しく過ごすことができるように、個々の判断に委ねるのではなく、登録ヘルパー同士がお互いに相談しながら支援にあたるようにしている。

大きな事故や利用者さんに怪我などはなかった。支援の内容などについて問い合わせがあった際には、その都度ご家族へ説明をした。支援内容について個別具体的な要望があげられた際には、必要に応じてヘルパーに周知徹底した。

支援する環境整備の一環で必要と思われる備品の購入をしたり、受け入れる部屋においては感染予防のため消毒処置をしたり、乾燥する時期には加湿器を配置する等の対応をした。

別 表

2019年度 地域生活支援事業 月別実績件数

磐田市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30
ライフ サポート	103	104	89	144	106	162	150	182	169	156	150	108	1623	1518
日中 一時	424	305	299	305	335	368	374	364	321	322	314	311	4042	3224
移動 支援	1	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0	7	40
合計	528	409	389	449	442	531	524	548	491	478	464	419	5672	4782

袋井市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30
ライフ サポート	10	9	12	11	3	10	10	11	4	9	10	5	104	177
日中 一時	45	42	52	56	35	42	40	39	29	31	36	41	488	610
外出 介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	55	51	64	67	38	52	50	50	33	40	46	46	592	787

森町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30
日中 一時	1	2	1	4	2	3	2	3	1	0	3	3	25	13
外出	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
合計	1	2	1	4	2	3	2	3	2	0	3	3	26	13

掛川市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30
日中 一時	3	7	5	10	6	5	7	5	6	5	5	6	70	50
合計	3	7	5	10	6	5	7	5	6	5	5	6	70	50

## 2019年度 共同生活援助事業 汐風 活動報告

### 1. 入居者さん及び各グループホームの状況

#### 【汐 風】

入居者さんの身体的状況を考慮し、体調観察や通院の支援、服薬の適切な管理など項目として整理し、その必要性に応じて実施している。そのうえで、業務日誌に記入しながら併行して体調観察を日々行なうようにし、血圧や体温計のバイタルチェックや摂食量も把握した。クリスマス会などの行事を、入居者さんと世話人とで共同で計画して実施した。

入居者さん同士お互いが気持ちよく過ごせる環境を模索するなかで、それぞれの気持ちに配慮した対応をその都度心掛けた。

入居者さんの高齢化、身体状況の変化に伴い、必要とされる援助の質と量が以前に比べ大幅に変化し、4月末に1名、8月末に1名退所となり、それぞれ介護保険事業所へ移行した。このことに伴い空きが生じた居室には、福浜会の生活介護事業所を利用している2名の方が新しく入居されることとなった。

#### 【あしたば】

全身性障がいのある入居者さんの地域生活支援事業を利用しての通院や買い物、散髪、身体機能維持のためのリハビリへのお付き添いなどの依頼が定着して定期的に行っている。在宅医療クリニックに月1回の訪問を依頼し、体調管理、健康維持に関し継続して把握した。

その時期に合わせ、入居者さんと世話人とでクリスマス会や誕生日会など共同で計画して実施した。あしたばに隣接する御殿遺跡公園で行なわれる御殿夏祭りへ参加し、地元の住民の方たちとふれあいの機会を持てた。近年は毎年参加しており定着している。

必要に応じて法人職員も勤務に入りながら、世話人だけで埋まりきらない勤務シフトを組んでおり、直接雇用に限らず人材派遣会社を通しての雇用もしながら人材確保に努めている。

#### 【日 和】

入居者さん同士が良好な関係でいられるように世話人が言葉がけ、促し等して配慮をしているが、関係性の中でうまくいかず、時として対応が難しい場面がある現状が続いている。

食事会など、その時期に合わせ入居者さんと世話人とで共同で計画して実施した。

昨年度、それまでの行動の表れとは大きな変化がみられた入居者さんについては、今年度に入り、日中の所在が不明になることがあり、母親と職員で捜索することもあったが、徐々に落ち着いてきて元の状態像に戻りつつあり、現在も母親と相談しながら本人の様子を見守っている状況である。

一般就労している入居者さんについては、車検など車の使用を維持、継続していく費用も重なって、依然として毎月のGHの利用料の支払いの滞りが続いており、今後の検討課題である。

日和を本体住居として障害者GHサテライト型として受け入れている入居者さんについては、コーケン工業㈱で一般就労を継続できていて、勤務態度もまじめで安定した収入を得ている。プライベートでは、サッカーの練習へ参加したり、友達と外出するなど充実している様子である。祖父母から金銭的な援助を受けて購入した車の返済もしっかり充てることができている。3ヶ月に1回“こひつじ診療所”を受診しているが、20歳を迎えた今夏に手続きを経て、障害基礎年金2級の受給決定を受けた。時を同じくして療育手帳の更新手続きも済ませ再判不要となった。サテライト型として援助して2年が経過する。サテライト型として定められている3年の援助期間は残り1年となり、来年度は一人暮らしに繋げていけるような援助が必要となる。

## 【みぎわ】

365日開所のホーム。地域で開催された“ふれあい祭り”へ歩いて参加したり、各々が好きな弁当を購入し、昼食会を兼ねて景品付きのゲームを行なうなどして、時期に合わせて楽しめる行事を計画して実施した。

休日に育成会や地域行事の一環で外出を楽しみにしている入居者さんには、その外出に必要な手配（参加の用紙への記入、タクシーの手配やバス時刻表の確認と持ち物の確認など）をして希望する生活の実現に向けて、地域へ出かけ充実した余暇を過ごした。

介護保険サービスへの移行期間として週に1回デイサービスを利用している入居者さんについて、1月に入りショートステイも体験した。移行時期について経過を見ている。

## 2. 世話人体制

汐風、日和、みぎわは基本的には1日通して世話人一人体制で勤務し、全身性障がいの方がいるあしたばは、かかりつけで介助に入る必要性があり、時間帯によっては2人体制で勤務した。

夜勤体制については、汐風、あしたば、みぎわについては毎日1名の配置を継続して実施し、日和については週4～5回配置した。夜勤の勤務内容としては、就寝への促し、夜間の見回り、入居者さんの安全確認、夜間における緊急時の対応である。法人の職員が夜勤に入った場合、グループホーム従事者（非常勤職員）として位置付けた。

また、定期的に週末に自宅に帰省している方が、家庭の事情や本人の要望により週末もホームで過ごすことになることがあり、状況に応じて世話人の勤務体制を整えるなどの対応をした。

世話人の事情等により、年間を通して勤務体制がめまぐるしく変わり、その都度勤務シフトを組み直さざるを得ない状況があった。生活援助の継続のための世話人確保の問題が依然として浮き彫りとなっている。内部包括型の運営をしていくために、世話人の絶対数の確保は重要課題である。

## 3. 健康管理

毎朝のバイタルチェックとして検温を行い、健康管理に留意した。高血圧が気になる方には、定期的な通院の支援と毎日の血圧チェックをした。食事に関しては、肥満等の予防も兼ね、栄養バランスなど考えた世話人の手作り料理を提供している。服薬については、ホーム毎、入居者さん毎にその方法を決めて取り組んだ。体調不良など、普段と違う様子が見られた際には、日中活動の施設の職員と情報を共有し、必要に応じてご家族に報告し、その後の指示を仰ぎ対応をした。

就寝前後、起床前後のエアコンのスイッチON⇔OFFや温度調節などを行ない、時期に合わせた適切な空調環境の維持に努めた。

時間を見つけて入居者さんと近所に散歩に出かけ、体力維持、運動不足解消を図る機会とした。

消毒処置を定期的実施した。入居者さんがインフルエンザなどの感染症に罹患した場合には、食事はその時々に対応したものを居室まで運んで提供し、トイレの時以外は居室から出ないようにはたらきかけをして、他の入居者さんとは隔離した生活を送ってもらうこととした。

## 4. 活動起案書による余暇活動

あらかじめ割り充てられた年間予算のなかで、活動、外出、外食などの希望が入居者さんよりあげられた際は、それぞれのホーム単位で世話人と一緒に相談しながら計画を立てて実施し、余暇活動の充実や社会体験を増幅する機会とした。

## 5. 購入物品について

生活に必要と思われるものについては、世話人さんより意見を伺い、その必要性について精査し、妥当と思われる物を購入した。入居者さんが居室に個人的に欲しいと要望があげられた物がある際には、ご家族に連絡をして個別の費用負担として購入の判断を仰いだ。

日常生活品については、ホームへ宅配してくれる業者へ定期的に発注をかけて購入している。

用途の多い洗剤類をひとまとめとして代用が効く“ピュアステラ”というアルカリ電解水をそれぞれのホームに配備し、活用することとした。

## 6. その他

ホーム単位で世話人と定期的に話し合い（会議）を行ない、勤務シフトの確認と入居者さんの直近の様子の申し送りや、業務の流れの確認などをした。通常と異なる状況や様子がみられる入居者さんについては、その前後の状況や出来事などの情報を共有するため、ノート等による申し送りをしたり、必要に応じて勤務前に連絡を入れて報告をするなどして対応した。また、職員がバックアップに入った際には、世話人との情報交換なども行った。

話し合いの折には、法人の理念や目的に沿って基本的な関わり方、業務の流れの理解を大事にしながら、入居者さんの希望する生活の実現に向けてそれぞれの世話人がお互いを尊重しあい、チームワークを大事にしながら支援にあたってもらうようにはたらきかけた。

定期的に法人で行なわれる職員向けの内部研修への参加要請を世話人に対して行なった。

静岡県知的障害者福祉協会の地域支援部会における研修会へ、一部の世話人を同行したことが外部研修への参加の機会としてあげられる。

防災対策について、非常食と水を世話人分含めて3日分配備している。また、MCA無線機やトランシーバーも配備しており、普段からの予防意識に加え、いざというときに有効活用ができるように世話人に対して意識付けをはたらきかけている。



## 2019年度磐田市障害者相談支援センター 及び磐田市障害者虐待防止センター事業報告

### 磐田市障害者相談支援センター

磐田市障害者相談支援センターは、磐田市より障害者相談支援事業の業務委託を受けて活動しています。  
(このなかに障害者虐待防止センターの機能も含まれています)

センター所在地	磐田市国府台57-7 磐田市総合健康福祉会館（iプラザ）
受託法人	社会福祉法人 福浜会
支援の実施地域	磐田市全域
対象者	知的、精神、身体の障がいをお持ちの方 (障害者手帳がなくても障がいがあるのではないかとと思われる方も含みます)
開所時間	月曜日～金曜日 8:30～17:15 (24時間電話対応)
職員数	4人 (社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員) 知的障害、身体障害の担当と、精神障害の担当に分かれています。

#### 支援内容

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ①福祉サービスの利用等に関する支援 | ⑦家計・経済に関する支援     |
| ②障害や症状の理解に関する支援   | ⑧生活技術に関する支援      |
| ③健康・医療に関する支援      | ⑨就労に関する支援        |
| ④不安の解消・情緒安定に関する支援 | ⑩社会参加・余暇活動に関する支援 |
| ⑤保育・教育に関する支援      | ⑪権利擁護に関する支援      |
| ⑥家族関係・人間関係に関する支援  | ⑫その他             |

#### ライフステージにおける支援の具体例

	支援内容
乳幼児期 0～6	<b>【障害の受容、適切な療育を受けるための支援、就学に向けての支援】</b> ・重症心身障害児の退院後の生活のコーディネート ・母親が働くために就労時間に合わせたサービス調整 ・母子家庭、父子家庭の養育等に関する不安の相談 ・本人以外にも支援の必要な方がいて家族全体に支援が必要な方 etc.
学齢期 6～18	<b>【放課後、長期休暇のサービス利用、卒業後の進路、家族のレスパイトのこと】</b> ・虐待防止の観点から児童相談所と家族支援 ・親に障害がある方への支援 ・集団活動が苦手なコミュニケーション手段が少ない方への地域で支える支援

成人期 18歳 以上	<p>【障害者年金の申請、成年後見人制度の利用、住宅入居の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害のある夫婦の子育てについて保健師と連携して対応</li> <li>・刑務所出所後の方の更生のための支援</li> <li>・民事事件に巻き込まれた方へ弁護士と協力して対応</li> <li>・精神科受診に繋げる支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">etc.</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以降の介護保険と障害福祉サービスの併用について</li> </ul>

### こんな機関と関わっています

市・県の機関（児童相談所等）、教育機関（特別支援学校等）、サービス事業所（施設等）、病院、警察、弁護士、幼稚園、保育園、ハローワーク、地域包括支援センター

## 磐田市障害者虐待防止センター

障害者虐待防止法は、障害者の安定した生活や社会参加を助けるために、障害者の権利や尊厳が脅かされることを防ぐ法律となります。

障害者虐待防止センターでは、通報や届け出の受付、虐待を受けた方の保護のための相談・指導及び助言、虐待防止のための啓発活動をおこなっています。

○ 障害者虐待の種類
①養護者による虐待
②障害者福祉施設従事者等による虐待
③使用者による虐待

○ 障害者虐待とは
・身体的虐待
・性的虐待
・心理的虐待
・放棄・放任（ネグレクト）
・経済的虐待

令和元年度 磐田市障害者相談支援業務 完了実績報告書

令和2年 3月31日

法人名 社会福祉法人福浜会  
 所在地 静岡県磐田市福田4396-1  
 代表者 理事長 高橋 和己

令和元年度分の磐田市障害者相談支援業務の実施状況を次のとおり報告します。

【障害者相談支援業務】

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者 (01)	376	54	2	129	203	39	12	15
障害児 (02)	51	5	4	41	4	18	0	1
計 (03)	427	59	6	170	207	57	12	16

(支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子メール (5)	個別支援 会議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
身体障害	187	31	16	113	7	11	237	0	602
知的障害	489	346	273	1,334	44	73	1,218	23	3,800
精神障害	553	303	205	644	25	104	398	11	2,243
件数 (07)	1,229	680	494	2,091	76	188	1,853	34	6,645

(支援内容)

	福祉サービスの 利用等に関する 支援 (1)	障害や症状の 理解に関する 支援 (2)	健康・医療に 関する支援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援 (4)	保育・教育に 関する支援 (5)	家族関係・人 間関係に関す る支援 (6)	家計・経済に 関する支援 (7)	生活技術に 関する支援 (8)	就労に関する 支援 (9)
件数 (08)	1,892	277	751	1,978	79	1,001	399	838	369
(再掲) ピアカウンセラー (09)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	社会参加・余 暇活動に関す る支援 (10)	権利擁護に 関する支援 (11)	その他 (12)	計 (13)
件数 (08)	66	99	129	7,878
(再掲) ピアカウンセラー (09)	0	0	0	0

【相談支援機能強化業務】

	件数
総合的・専門的な相談支援 (01)	274
相談支援体制の強化 (02)	508
地域移行・地域定着の取組み (03)	1
権利擁護・虐待防止 (04)	11
中遠自立支援協議会の運営 (05)	145

令和元年度 磐田市障害者虐待防止業務 完了実績報告書

令和2年 4月10日

法人名 社会福祉法人福浜会

所在地 静岡県磐田市福田4396-1

代表者 理事長 高橋 和己

令和元年度分の磐田市障害者虐待防止業務の実施状況を次のとおり報告します。

(障害者虐待の相談又は通報を受けた件数※被虐待者障害種類別・虐待種類別)

	養護者による虐待 (1)	施設従事者等による虐待 (2)	使用者による虐待 (3)	その他 (4)	計 (5)
身体障害 (01)	0	0	0	1	1
知的障害 (02)	1	0	0	0	1
精神障害 (03)	1	0	0	0	1
手帳未所持 (04)	0	0	0	0	0
実人員 (05)	2	0	0	1	3

(障害者虐待の相談又は通報を受けた件数※受付方法別・虐待種類別)

	養護者による虐待 (1)	施設従事者等による虐待 (2)	使用者による虐待 (3)	その他 (4)	計 (5)
窓口 (01)	1	0	0	0	1
電話 (02)	1	0	0	1	2
メール・FAX (03)	0	0	0	0	0
件数 (04)	2	0	0	1	3

※休日・夜間に受けた場合は( )書きで再掲

(養護者および障害者の支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子メール (5)	個別支援会議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件数 (01)	120	25	99	450	0	8	229	9	940

(養護者および障害者の支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援 (1)	障害や症状の理解に関する支援 (2)	健康・医療に関する支援 (3)	不安の解消・情緒安定に関する支援 (4)	家族関係・人間関係に関する支援 (5)	家計・経済に関する支援 (6)	権利擁護に関する支援 (7)	その他 (8)	計 (10)
件数 (01)	115	38	105	481	77	10	3	144	973

(家庭訪問等個別支援業務)

	訪問世帯数 (1)	延べ訪問数 (2)
件数 (01)	35	115

(障害者虐待防止啓発活動業務)

件数 (01)	0
---------	---

## 事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人福浜会